

平成 25 年度

事業概要



すもも (事業犬)

名古屋市動物愛護センター

基本理念

1. 動物の生命を尊重し、その健康と福祉の増進に努めます。
2. 人と動物のきずなを確立するとともに心豊かな市民生活の構築に努めます。
3. 動物の愛護と適正飼養に関する知識・技術の習得に努め、市民への普及啓発を図ります。

目 次

I 概 況

| | | |
|-----|----------|----|
| 1 | 沿 革 | 5 |
| 2 | 機構と分掌事務 | 7 |
| 3 | 職 員 | 7 |
| 4 | 施 設 | |
| (1) | 施 設 名 | 8 |
| (2) | 所 在 地 | 8 |
| (3) | 規 模 | 8 |
| (4) | 開設年月日 | 8 |
| (5) | 犬・猫舎室数 | 8 |
| (6) | 配 置 図 | 8 |
| (7) | 建物平面図 | 9 |
| 5 | 行政組織の系統図 | 11 |

II 事業の概要

| | | |
|---|-----------------------------|----|
| 1 | 狂犬病予防業務 | 13 |
| 1 | 捕獲 | 13 |
| 2 | 野犬重点地域における巡回調査及び計画捕獲 | 13 |
| 3 | こう傷犬の検診 | 14 |
| 2 | 犬・猫の引取り、自活不能猫及び負傷動物の収容 | 15 |
| 1 | 犬・猫の引取り業務 | 15 |
| 2 | 自活不能猫の収容業務 | 15 |
| 3 | 負傷動物に関する業務 | 16 |
| 3 | 収容動物の管理及び処分 | 16 |
| 1 | 狂犬病予防法に基づく犬の抑留 | 16 |
| 2 | 返還 | 16 |
| 3 | 譲渡 | 18 |
| 4 | 殺処分 | 22 |
| 5 | 愛護館における犬猫の飼養管理 | 22 |
| 4 | 動物愛護と適正飼養の普及啓発・指導 | 23 |
| 1 | 愛護館における普及啓発活動 | 23 |
| 2 | 動物愛護を啓発する各種教室の開催 | 24 |
| 3 | 犬猫等の適正飼養を普及啓発するための教室・事業等の開催 | 27 |

| | | |
|---|---|----|
| 4 | 動物介在活動 (高齢者等を対象としてやすらぎやコミュニケーションの活発化等を期待して行う動物とのふれあい活動) | 30 |
| 5 | 動物愛護週間行事 | 30 |
| 6 | 猫問題への対応 | 31 |
| 7 | 所有明示の推進 | 32 |
| 8 | 避妊去勢手術の推進 | 32 |
| 9 | 災害時におけるペット対策 | 32 |
| 5 | 動物愛護推進員の活動の推進 | 33 |
| 1 | 動物愛護推進員関連事業の開催及び協力 | 33 |
| 2 | 動物愛護推進員との協働事業の実施 | 34 |
| 3 | 動物愛護推進員の自主的な活動の支援 | 35 |
| 6 | 特定動物飼養者への指導 | 35 |
| 1 | 許可及び監視指導 | 35 |
| 2 | 逃走特定動物への対策 | 38 |
| 7 | 動物取扱業者への指導 | 39 |
| 1 | 登録及び監視指導 | 39 |
| 2 | 動物取扱責任者研修 | 40 |
| 8 | 人獣共通感染症対策 | 40 |
| 1 | 啓発・指導 | 40 |
| 2 | 事業犬及び収容動物の糞便検査等 | 40 |
| 9 | 関係機関一覧 | 41 |

III 統 計

| | | |
|-----|-------------------------------------|----|
| 1 | 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業 (区別、月別) | 43 |
| 2 | 捕獲及び返還状況 (区別、月別) | 45 |
| 3 | 指導班活動状況 (区別、月別) | 47 |
| 4 | 殺処分頭数 | 49 |
| 5 | 狂犬病予防事業 及び動物愛護に関する事業推移表その1 (年度別) | 50 |
| 6 | 狂犬病予防事業 及び動物愛護に関する事業推移表その2 (年度別) | 51 |
| 7 | 愛護指導業務に関する事業推移表 | |
| (1) | 譲渡頭数 | 52 |
| (2) | 事業別実績数 | 53 |

IV 名古屋市動物愛護センター案内図

I 概 況

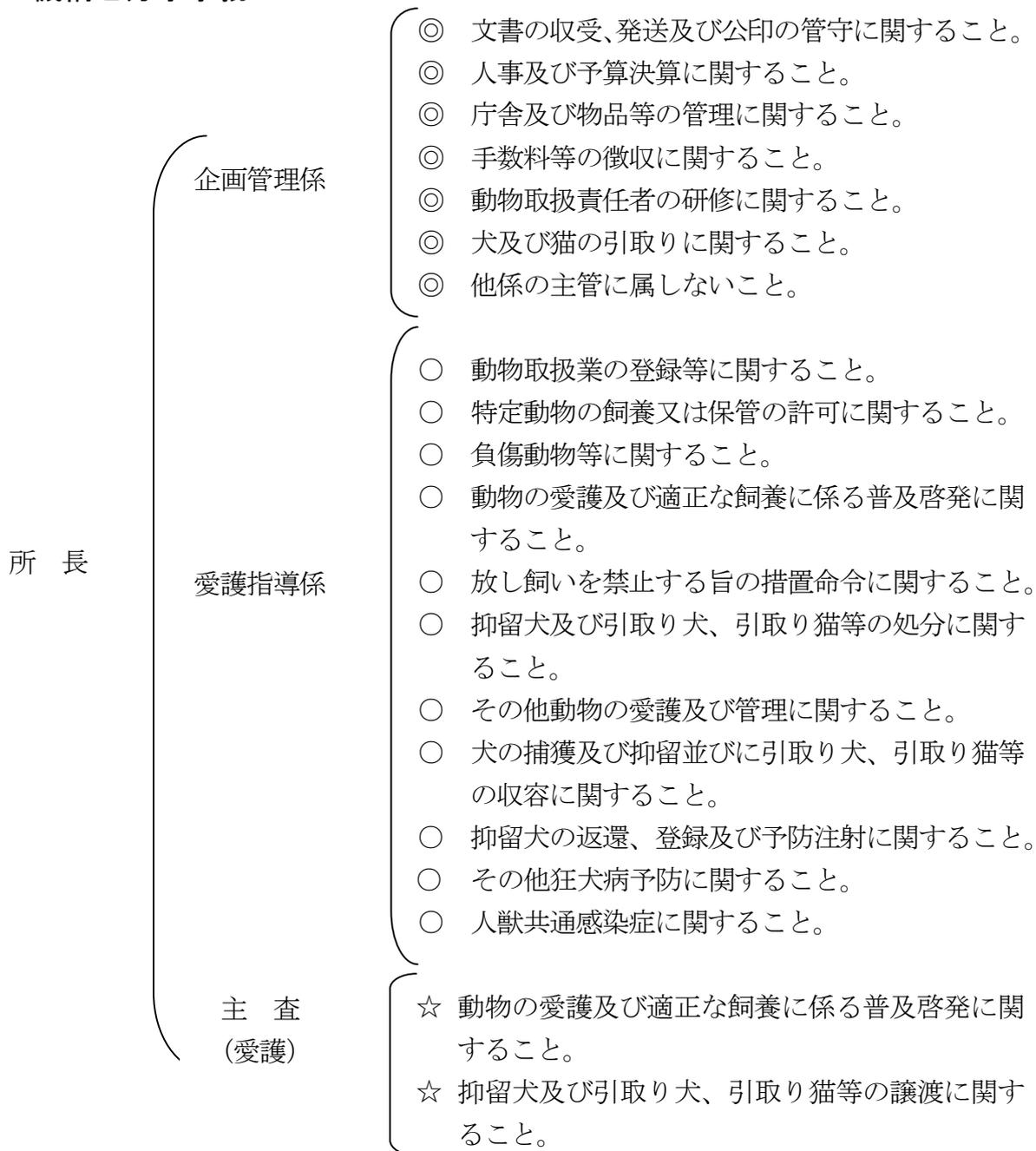
1 沿 革

- 昭和 26 年 4 月 狂犬病予防法第 21 条の規定による抑留施設を中川区に設置し、犬抑留所の業務を開始した。
- 昭和 29 年 11 月 本館・事務所・車庫・焼却室を竣工、これを契機に民間に背負わせていた犬の捕獲や処分の業務を市が直接実施することとし、兼任の狂犬病予防員 1 名と臨時職員 6 名の陣容で出発、名称を名古屋市犬抑留所とした。
- 昭和 35 年 1 月 名古屋市飼犬等規制条例が施行され、これに伴い人員器材を強化した。
- 昭和 39 年 4 月 名古屋市飼犬指導所と名称を変え、機構改革により係長公所として独立した。
- 昭和 44 年 9 月 千種区に東分所を新たに設置、中川区の施設を本所として市域を東西に二分して各々の分担地区を定めた。
- 昭和 45 年 4 月 機構改革により課長公所に昇格、本所に業務第一係、東分所に業務第二係をおき、2 係制とした。
- 昭和 49 年 4 月 動物の保護及び管理に関する法律が施行された。
- 昭和 51 年 5 月 名古屋市動物指導センターと名称を変え、動物の保護及び管理に関する業務を開始した。
- 昭和 59 年 9 月 動物愛護センター（仮称）建設開始に伴い、東分所を廃止し、本所に合併した。
- 昭和 60 年 9 月 旧東分所及び隣接区域に愛護館、管理棟、車庫を竣工、動物愛護センターと名称を変えた。これに伴い本所を廃止した。
また、機構改革により、管理係、主査（業務担当）及び主査（愛護担当）の 1 係 2 主査制とし、愛護事業を強化した。
- 平成 4 年 3 月 展示室及びワンワン教室等の改装を行い、愛護館設備の充実を図った。
愛護館開設以来、来館者 50 万人を達成した。
- 平成 9 年 4 月 愛護館開設以来、来館者 100 万人を達成した。
- 平成 10 年 3 月 管理棟自動追込機・処分機の改装を行った。
- 平成 12 年 12 月 動物の保護及び管理に関する法律が改正され、動物の愛護及び管理に関

する法律として12月1日より施行された。

- 平成13年4月 名古屋市動物の愛護及び管理に関する条例が4月1日から施行された。
- 平成14年5月 失踪保護動物情報管理システムを導入し、センターの収容動物の画像を保健所窓口で見ることが出来るようになった。
- 平成16年11月 安心・安全で快適なまちづくりなごや条例が、11月1日から施行された。
- 平成17年4月 名古屋市動物愛護センター動物譲渡要項を制定し、成犬の飼主募集を開始した。
- 平成18年6月 動物の愛護及び管理に関する法律及び名古屋市動物の愛護及び管理に関する条例が改正され、6月1日から施行された。
- 平成21年4月 マイクロチップによる所有明示措置を普及するために、当センターから譲渡する動物には、飼主の負担でマイクロチップを装着しすることを義務付けた。
- 平成22年7月 一般家庭に譲渡するまでに、訓練や治療等のケアが必要なものや、長期にわたり飼主が見つからない犬猫を一時保護し、適切な飼主を探して譲渡する譲渡ボランティアの登録制度を開始した。
- 平成23年4月 犬猫の引取りが有料化された。
- 平成24年4月 動物取扱業・特定動物の許可監視業務、犬猫の引取業務、負傷動物の受付・収容業務、自活不能猫の受付・収容業務を保健所から集約、4名増員し、1係2主査制から企画管理係、愛護指導係、主査（愛護担当）の2係1主査制となった。
- 平成24年11月 環境省の地域自主戦略交付金（環境保全施設整備に関する事業）による管理棟及び愛護館内装その他改修工事が開始された。
- 平成25年5月 地域自主戦略交付金から環境保全施設整備費補助金に制度変更された。
- 平成26年3月 管理棟及び愛護館内装その他の改修工事が完了し、愛護館がリニューアルオープンした。

2 機構と分掌事務



3 職員

| | 課長 | 係長 主査 | 主事 | 獣医師 | 狂犬病予 防技術員 | 嘱託員 | 計 |
|-----------|----|----------|----|-----|--------------|-----|----|
| 所長 | 1※ | | | | | | 1 |
| 企画 管理係 | | 2※ | 3 | 2※ | | | 7 |
| 愛護 指導係 | | 1※ | | 6※ | 15 | 10* | 32 |
| 計 | 1 | 3 | 3 | 8 | 15 | 10 | 40 |

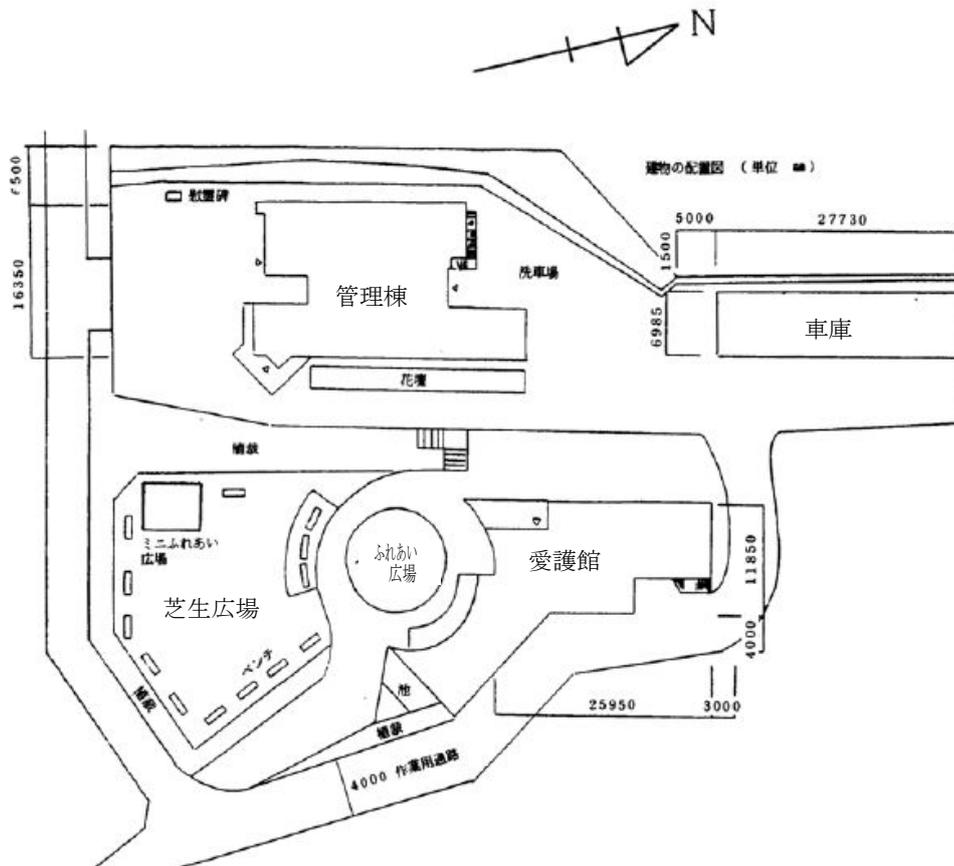
※印 狂犬病予防員 計 11 名
*施策業務補助嘱託員 1 名を含む

4 施設概要

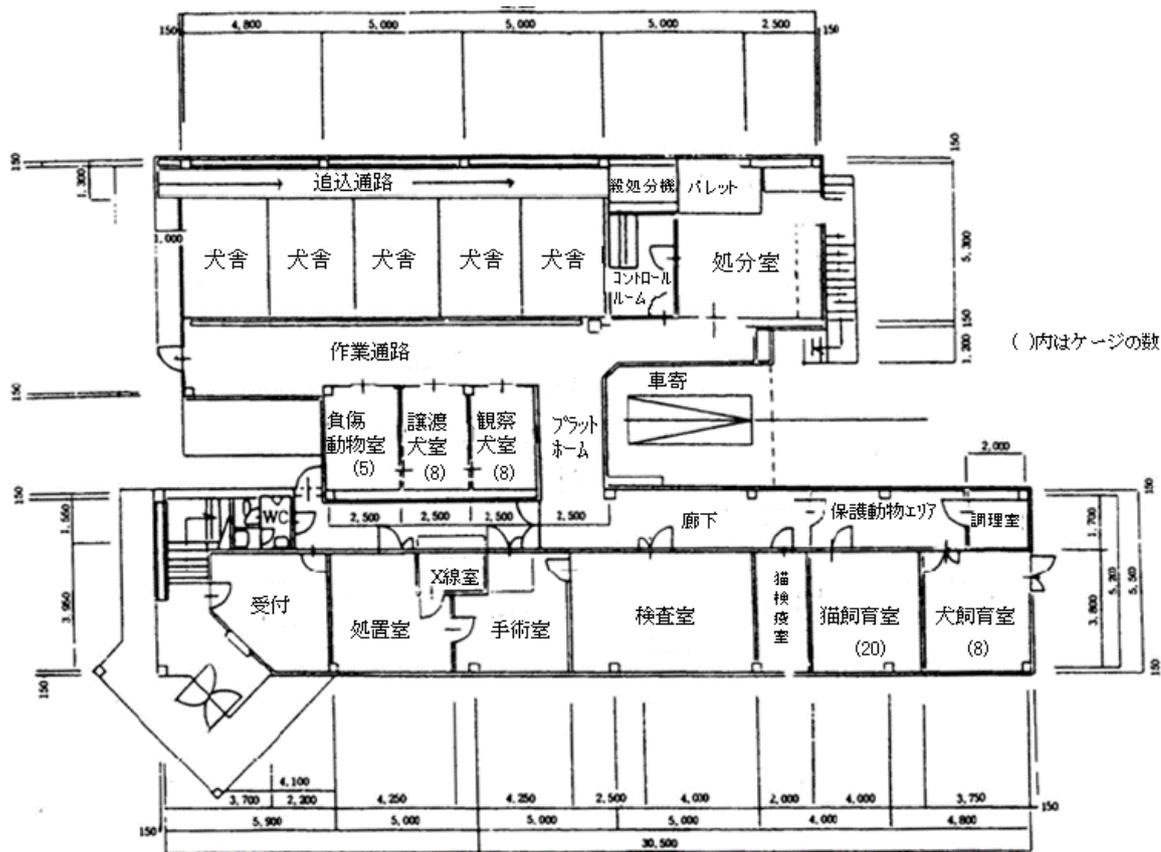
- (1) 施設名 名古屋市動物愛護センター
- (2) 所在地 名古屋市千種区平和公園二丁目 106 番地
- (3) 規模
- * 敷地面積 8,592 m²
 - * 建物面積
- | | | |
|---------------------|---|-----------------------|
| 管理棟 (鉄骨造 2階建) | 延 | 695.54 m ² |
| 愛護館 (鉄筋コンクリート造 2階建) | 延 | 575.05 m ² |
| 車庫 (鉄骨造 平屋建) | 延 | 200.31 m ² |
- (4) 開設年月日 昭和 60 年 9 月 1 日
- (5) 犬・猫舎室数

| 管理棟 | | | 愛護館 | | |
|----------|------------------|------|----------|------------------|------|
| 名称 | 面積m ² | ケージ数 | 名称 | 面積m ² | ケージ数 |
| 犬舎 (5 室) | 12×5 | — | 犬舎 (8 室) | 3×8 | — |
| 負傷動物舎 | 9.1 | 5 | 犬舎 | 6 | 8 |
| 譲渡犬舎 | 9.1 | 8 | 猫飼育室 | 11.5 | 12 |
| 観察犬舎 | 9.1 | 8 | | | |
| 猫検疫室 | 7.6 | — | | | |
| 猫飼育室 | 15.2 | 20 | | | |
| 犬飼育室 | 11.3 | 8 | | | |

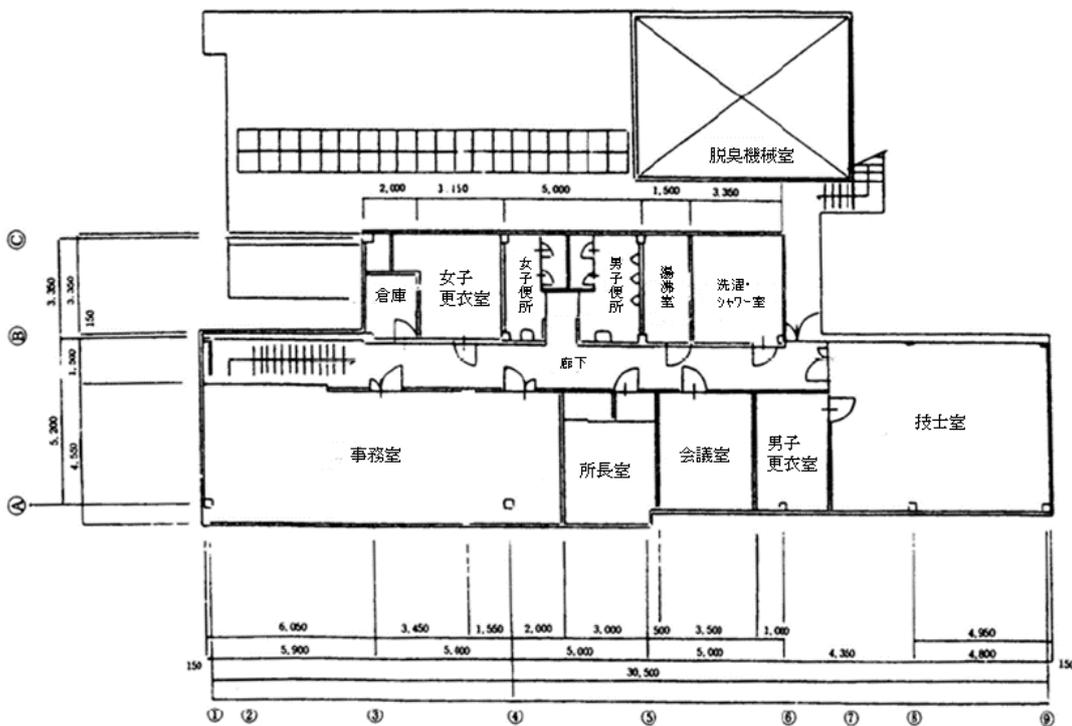
(6) 配置図



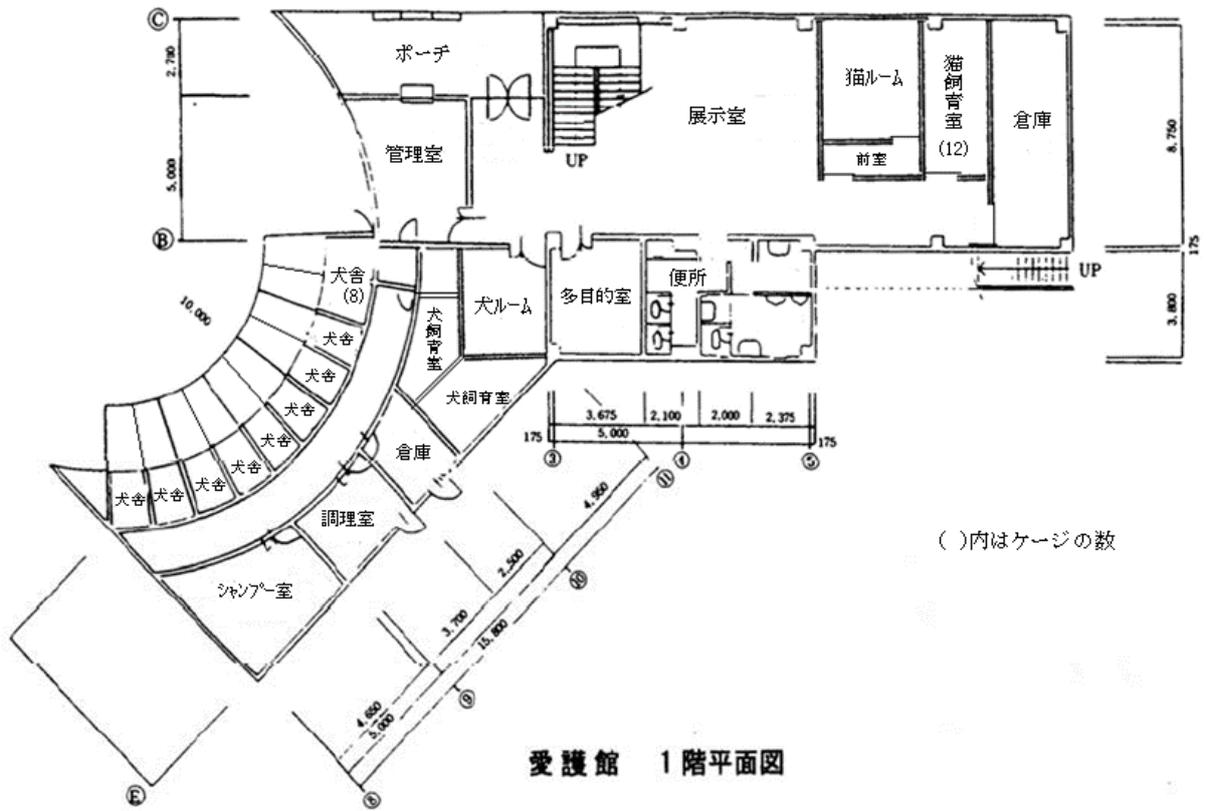
(7) 建物平面図



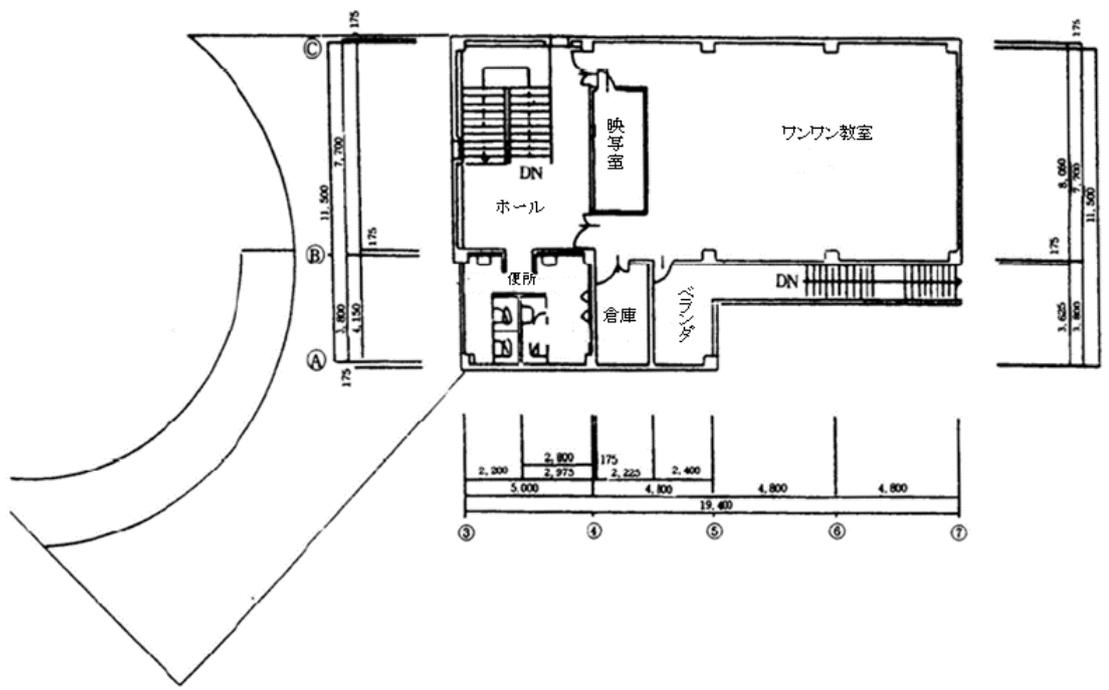
管理棟 1階平面図



管理棟 2階平面図

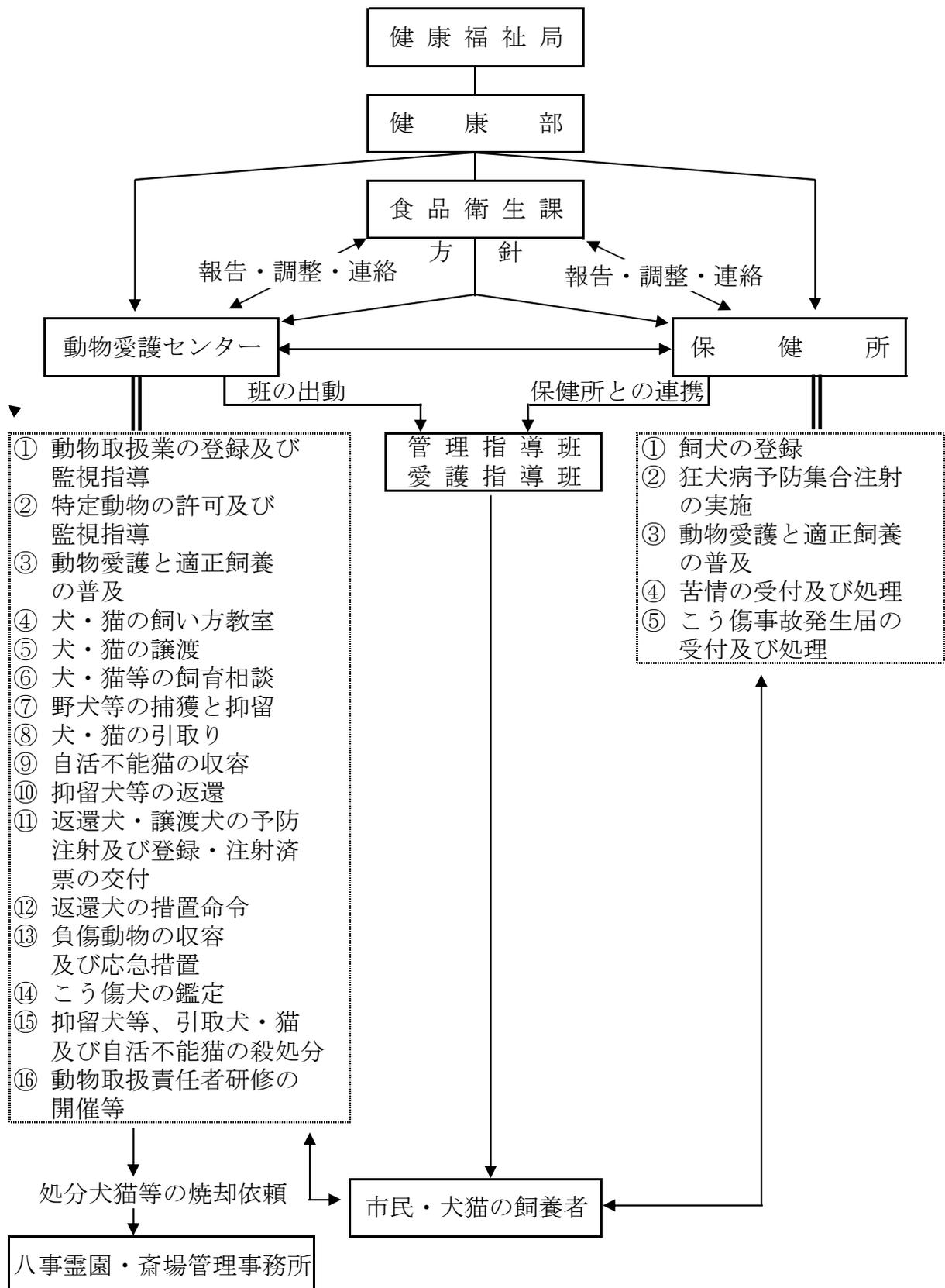


愛護館 1階平面図



愛護館 2階平面図

5 行政組織の系統図（平成24年4月1日から組織改正）



※ 自活不能猫とは、自力では生活できない所有者不明の子猫のことをいう。

Ⅱ 事業の概要

本市動物愛護センター（以下、センターという。）は、名称の示すように動物愛護を基本理念として、動物愛護業務を推進している。従来の業務である飼犬等の管理指導業務もその精神を加味し、対策をたてている。

業務は所管法令（狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律など）に基づき、要綱、規程に従って事業を実施している。

センターにおける業務は、動物の適正飼養と動物愛護の普及・啓発を行う「愛護指導班」と、犬の捕獲・抑留及び犬・猫の引取り等や、動物取扱業・特定動物の監視指導を行う「管理指導班」に分かれて実施している。

各々の業務について毎年事業計画を作成し、実施している。

1 狂犬病予防業務

狂犬病の発生を予防し、犬による危害迷惑を防止するため、犬の捕獲・抑留等を実施している。

野犬・放浪犬の捕獲・抑留については、狂犬病予防法、名古屋市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき実施している。

1 捕獲

保健所の要請等に基づき、管理指導班の出動による野犬や放浪犬の捕獲を行っている。

犬の出没状況、緊急性等により、時間外及び土・日・祝日についても出動している。緊急性がある場合には、可能な限り迅速に対応している。

また、通常の捕獲方法（カケ・タモ等）で困難な場合は、捕獲箱、捕獲網（キャッチング・ネット）、吹き矢、麻酔銃等で捕獲を実施している。

◎平成 25 年度捕獲頭数

| | 開庁時間 | 時間外 | 土・日・祝 | 計 |
|------|------|-----|-------|-----|
| 捕獲頭数 | 235 | 16 | 19 | 270 |

2 野犬重点地域における巡回調査及び計画捕獲

野犬実態調査により、長期にわたり野犬の生息が確認されている地域を野犬重点地域に指定している。

野犬重点地域においては、保健所と連携し、野犬の生息状況を調査した上で、計

画的に捕獲を実施している。

平成 26 年 3 月 31 日現在の野犬重点地域と平成 25 年度の監視件数は次のとおりであった。

◎野犬重点地域（平成 26 年 3 月 31 日現在）及び平成 25 年度監視件数

| | 区名 | 地域名 | 指定日 | 監視件数（件） （平成 25 年度） |
|-----|----|---|-----------------|-----------------------|
| 1 | 中川 | 富田町千音寺十六割 周辺 | 平成 23 年 3 月 3 日 | 4 |
| 2 | 港 | 神宮寺一・二丁目、宝神町、 宝神一～五丁目、稲永三丁 目、野跡一・四・五丁目、潮 風町 周辺 | 平成 23 年 3 月 3 日 | 24 |
| 3 | 守山 | 上志段味 周辺 | 平成 23 年 3 月 3 日 | 10 |
| 4 | 守山 | 小幡中二・三丁目 周辺 | 平成 23 年 3 月 3 日 | 7 |
| 5 | 天白 | 天白町平針黒石 周辺 | 平成 23 年 3 月 3 日 | 9 |
| 合 計 | | | | 54 |

3 こう傷犬の検診

こう傷事故を起こした犬のうち、飼主不明犬と飼主から引き取った飼犬について狂犬病の検診を行っている。

この検診では、センターの獣医師が 2 週間以上、こう傷犬の臨床症状を観察し、狂犬病か否かを鑑定している。

平成 25 年度は、捕獲犬 2 頭、引取犬 2 頭の鑑定を行い、狂犬病の症候は認められなかった。

2 犬・猫の引取り、自活不能猫及び負傷動物の收容

犬・猫等による危害迷惑防止等を目的とし、動物の愛護及び管理に関する法律に基づき犬・猫の引取り、自活不能猫（所有者の判明しない猫で、自らの力で生活できない子猫）の收容、負傷動物の收容と治療等を実施している。

1 犬・猫の引取り業務

| 引 取 場 所 | 引 取 日 | 引 取 時 間 |
|---------|------------|----------------------|
| セ ン タ ー | 月～土（祝日を除く） | 午前 8 時 45 分 ～ 午後 4 時 |

◎引取り手数料（1頭につき）

| 成 犬 | 成 猫 | 子 犬 | 子 猫 |
|---------|---------|-------|-------|
| 2,500 円 | 2,500 円 | 500 円 | 500 円 |

犬・猫の引取りを求められた場合には、終生飼養するよう説得を行い、飼育継続が困難と認められるものについてのみ引取りを行うよう努めている。また、引取り時には運転免許証等で本人確認を行っている。

◎平成 25 年度 犬・猫の引取り頭数

| | 犬 | | 猫 | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 成 犬 | 子 犬 | 成 猫 | 子 猫 |
| 小 計 | 111 | 4 | 214 | 303 |
| 合 計 | 115 | | 517 | |

2 自活不能猫の收容業務

自活不能猫の收容を動物愛護の観点から行っている。收容の方法は、拾得者の移送協力が得られる場合には、犬・猫の引取りの受付日時に準じて、センターで引取りを行っている。また、拾得者の移送協力が得られない場合には、管理指導班を出動させ、現地で收容している。

◎平成 25 年度 自活不能猫の保護収容状況

| | |
|-----------|-----|
| 現地収容頭数 | 458 |
| センター引取り頭数 | 324 |
| 計（頭） | 782 |

3 負傷動物に関する業務

負傷動物（犬・猫・いえうさぎ・鶏・いえばと・あひる）について、現地に管理指導班を出動させ収容している。センターでは、治療等を行い、飼主への返還又は新たな飼主への譲渡に努めているが、平成 25 年度の負傷動物の収容・返還・譲渡の状況は次のとおりであった。

◎平成 25 年度 負傷動物の収容・返還・譲渡状況

| | 犬 | 猫 | いえうさぎ | 鶏 | いえばと | あひる | 計 |
|----|----|-----|-------|---|------|-----|-----|
| 収容 | 10 | 180 | 0 | 0 | 0 | 0 | 190 |
| 返還 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 譲渡 | 3 | 7 | 1 | 1 | 0 | 0 | 12 |

3 収容動物の管理及び処分

収容した動物については、可能な限り飼主に返還又は飼養を希望する者に譲渡することにより生命の救済に努めている。やむを得ず殺処分を行う際には適正に実施している。

1 狂犬病予防法に基づく犬の抑留

捕獲した犬は飼主に返還するために原則として3日間（捕獲日、土・日・祝日は含まない。）抑留している。

2 返還

(1) 返還

抑留犬の所有者が返還を申し出たときは、動物愛護管理指導票で犬の逃走の再発

防止を指導するとともに、当該犬の狂犬病予防法に基づく登録・狂犬病予防注射の実施を確認し、未実施の場合は、センターで狂犬病予防注射を行い、鑑札や狂犬病予防注射済票を交付している。平成 24 年度から所有者の任意によりマイクロチップを装着している。

また、名古屋市動物の愛護及び管理に関する条例第 11 条（けい留義務）の違反事実が悪質な場合は、同条例第 12 条による「飼犬の放し飼いを禁ずる」旨の措置命令書を交付している。平成 25 年度は、措置命令書を 4 件交付した。

平成 25 年度の返還までの飼育日数は次のとおりであった。

◎返還までの飼育日数

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 飼育日数 | 捕獲日 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | 6日 | 7日 | 8日 | 13日 | 17日 | 21日 | 22日 | 42日 |
| 頭数 | 68 | 69 | 18 | 8 | 7 | 7 | 3 | 2 | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 |

◎返還頭数、返還犬の鑑札・狂犬病予防注射済票交付件数、狂犬病予防注射実施件数及びマイクロチップ装着件数

| | | | | | |
|-------|-----------------------|---------------------------|------------------------------------|---------------------|-----------------|
| | 返還頭数 (うち市外に返還した頭数) | 犬の鑑札 交付件数 (うち再交付件数) | 狂犬病予防 注射済票 交付件数 (うち再交付件数) | 狂犬病 予防注射 実施件数 | マイクロチップ 装着件数 |
| 25 年度 | 191(8) | 54(7) | 75(0) | 69 | 6 |

◎返還時の手数料等

| | | | | |
|---------|------------------|---------------|--------------------|--------------|
| 返還料 | 飼育管理費 (一日につき) | 犬の登録申請 手数料 | 狂犬病予防注射 済票交付手数料 | 狂犬病予防 注射料 |
| 3,000 円 | 400 円 | 3,000 円 | 550 円 | 2,750 円 |

| | | |
|----------------|---------------------|----------------|
| 犬の鑑札再交付 手数料 | 狂犬病予防注射 済票再交付手数料 | マイクロチップ 装着料 |
| 1,600 円 | 340 円 | 3,400 円 |

(2) 失踪動物・保護動物の捜索に対する飼主への協力

センターに寄せられる失踪動物及び保護動物に関する問い合わせは、平成 25 年度は 927 件であり、問い合わせを受けるごとに、「失踪保護動物情報管理システム」*により類似動物のチェックを行っている。収容した捕獲犬及び負傷動物の情報は 2 日間公示するとともに、平成 23 年 3 月からは本市公式ウェブサイト上に公開している。

*失踪保護動物情報管理システム：平成 14 年 5 月から導入。市民から市内 16 保健所及びセンターに寄せられる失踪又は保護動物の情報をサーバーコンピューターで一括管理。センターが収容した捕獲犬及び負傷動物の画像を各保健所で確認することが可能。

| | 平成 13 年度 | 平成 14 年度 | 平成 22 年度 | 平成 24 年度 | 平成 25 年度 |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 犬の捕獲頭数 | 763 | 807 | 339 | 345 | 270 |
| 犬の返還頭数 | 247 | 326 | 175 | 221 | 191 |
| 犬の返還率(%) | 32.3 | 40.3 | 51.6 | 64.1 | 70.7 |


 平成 14 年 5 月より失踪保護動物情報管理システムを導入


 平成 23 年 3 月より本市公式ウェブサイト上での情報公開を導入

3 譲渡

生命の救済と地域の模範となる飼主の育成をめざして、広報なごや、本市公式ウェブサイト、保健所及びセンター窓口等で、積極的に飼主を募集する譲渡事業を行っている。

単なる動物の斡旋でないことから、飼主には、次のような要件及び遵守事項を定めている。

飼主の要件

- 市内在住であること。ただし、市内では適切な飼主の応募がなかった動物についてはこの限りではない。
- 成人であること。
- 動物の飼養が可能な住宅に住んでいること。
- 飼主になることについて家族全員の同意を得ていること。
- 万が一、何らかの事情で譲渡動物を飼えなくなったときは、代わりに世話をする人を決めること。
- 子犬の譲渡を希望する場合は、センターで開催する子犬の飼主募集会に参加すること。

飼主の遵守事項

- 法令等を遵守し、動物の健康及び安全を保持し、人への危害迷惑防止に努め、責任を持って終生にわたり家族の一員として大切に飼養すること。
- 繁殖を防止すること。なお、犬及び猫については、避妊又は去勢手術を実施すること。
- 犬については、狂犬病予防法第4条第1項に定める登録をし、狂犬病予防注射を受けさせること。なお、登録及び狂犬病予防注射は、原則としてセンターで実施するものとするが、犬の所在地が市外の場合はこの限りではない。
- 名札及びマイクロチップの装着等自己の所有であることを明らかにするための措置をすること。※
- 譲渡後の飼養実態調査に協力すること。
- 子犬の譲渡を受けた飼主は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。
 - ・散歩では排せつさせず、自宅の一定の場所（トイレ）で排せつさせるしつけをすること。
 - ・センターで開催する犬のしつけ方教室又はパピー教室に参加すること。
- 成犬の譲渡を受けた飼主は、センターで開催する犬のしつけ方教室に参加しなければならない。
- 猫の譲渡を受けた飼主は、室内で飼養しなければならない。

※マイクロチップの装着

所有明示の推進及び模範的な飼主育成の観点から、センターで譲渡する動物に対して、マイクロチップの装着を行っている。

(1) 犬の譲渡

収容期間の満了した捕獲犬及び引取犬について、性格等の審査、健康診断を行い、家庭動物又は展示動物として適性があると判断された犬を選別して一定期間飼養し、その飼養期間中に、犬の性格やくせ等を把握している。

譲渡希望者には、自宅・自宅付近の見取り図、飼養場所、家族構成、犬の飼養経験及び犬を飼う目的等を成犬譲渡申込書に記載してもらい、必要に応じて家庭訪問や面接を行い、飼養環境を調査している。

一定の飼養期間を経過後、年齢・性格・くせ・大きさ等から考慮してその犬にあった飼養環境の譲渡希望者に対して、原則的に、1週間から2週間、飼えるかどうかを試す一時飼養を行い、その結果を受けて譲渡を行っている。譲渡又は一時飼養時には、犬の飼い方教室を実施し、犬のくせや飼養上の注意事項を十分説明している。譲渡時には、登録と狂犬病予防注射を行っている。

平成25年度の犬の飼い方教室の実施件数は119件で、家族270人の参加があった。

また、捕獲犬について、捕獲時に近くに居合わせた方や一時保護した方から譲渡の希望があった場合も、登録と狂犬病予防注射を実施し譲渡した。

◎平成 25 年度 犬の譲渡頭数

| 捕獲犬から | 引取犬から | 他都市より受け入れた犬*から | 計 |
|----------------------------|-------|----------------|-----|
| 65 (うち 2 頭は捕獲に関わった方に譲渡) | 38 | 1 | 104 |

(2) 猫の譲渡

譲渡希望者に、譲渡申込書を記載してもらい、譲渡可能な猫について、譲渡申込み順に従って、順次、譲渡希望者に譲渡した。譲渡時には、猫の飼い方教室を実施した。この教室では、室内飼養を重点的に指導するとともに、避妊・去勢手術、しつけ、健康管理についても指導した。

平成 25 年度の猫の飼い方教室の実施件数は 160 件で、家族 402 人の参加があった。

◎平成 25 年度 猫の譲渡頭数

| 子猫 | 成猫 | 計 |
|-----|----|-----|
| 265 | 55 | 320 |

(3) ボランティア譲渡

平成 22 年 7 月から、センターが収容している動物のうち、一般家庭への譲渡までに、訓練や治療等のケアが必要な動物や、長期にわたり飼主が見つからない動物等について一時保護し、適切な飼主を探して譲渡する譲渡ボランティア（団体・個人）の募集を開始した。譲渡ボランティアには登録の基準及び遵守事項を定めた。

平成 25 年度末時点、28 の団体と 5 人の個人の計 33 の団体、個人が譲渡ボランティア登録を行っている。平成 25 年度は 5 団体が譲渡ボランティア登録を行った。

◎平成 25 年度 ボランティア譲渡頭数（再計）

| 犬 | 猫 | 計 |
|----|-----|-----|
| 44 | 156 | 200 |

◎譲渡ボランティアの登録の基準

| | |
|------|--|
| 共通事項 | <p>(1) センターの譲渡事業に協力し、新たな飼主探しを非営利活動として行うこと。</p> <p>(2) 活動趣旨が、センターの実施する譲渡事業の趣旨と合致していること。</p> <p>(3) 譲渡動物の保管にあたっては、適正に飼養できる環境を有し、近隣の生活環境に悪影響を及ぼす恐れがないこと。</p> |
| 団 体 | <p>(1) 第 18 条から第 22 条までに規定する事項の窓口となる指定メンバーを定めること。</p> <p>(2) 代表者、指定メンバー及び一時飼養施設の管理責任者は、成人であること。</p> <p>(3) 代表者及び指定メンバーは、第 5 条に定める一般譲渡における飼主になるための要件及び第 6 条に定める飼主の遵守事項を理解していること。</p> <p>(4) 一時飼養施設の管理責任者は、譲渡動物を適正に取り扱う経験又は技能があること。</p> <p>(5) 代表者及び指定メンバーは、新しい飼主に対して、譲渡動物を適正に飼養するために必要な知識を教示できること。</p> <p>(6) 団体名、代表者氏名及び活動拠点を公表することに同意できること。</p> <p>(7) 指定メンバーは、センターが実施する講習会を受講していること。</p> |
| 個 人 | <p>(1) 成人であること。</p> <p>(2) 第 5 条に定める一般譲渡の飼主の要件及び第 6 条に定める飼主の遵守事項を理解していること。</p> <p>(3) 譲渡動物を適正に取り扱う経験又は技能があること。</p> <p>(4) 新しい飼主に対して、譲渡動物を適正に飼養するために必要な知識を教示できること。</p> <p>(5) 氏名及び活動拠点を公表することに同意できること。</p> <p>(6) センターが実施する講習会を受講していること。</p> |

◎譲渡ボランティアの遵守事項

| | |
|------|---|
| 共通事項 | <p>(1) 法令等を遵守し、動物の健康及び安全を保持し、人への危害迷惑防止に努め、新たな飼主に譲渡するまで責任を持って大切に飼養すること。</p> <p>(2) 多頭飼養等で苦情の原因になる事態を生じさせないこと。</p> <p>(3) 動物の一時飼養に関する近隣住民からの苦情及び新たな飼主への譲渡に関する苦情を受けたときは、センター所長に速やかに連絡すること。</p> <p>(4) センター譲渡事業に誤解を招いたり、支障をきたす行為は行わないこと。</p> <p>(5) 成犬については譲渡を受けてから 30 日以内に、子犬については推定年齢で生後 90 日を経過した日から 30 日以内に、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施すること。</p> <p>(6) 他の譲渡ボランティアへの再譲渡は行わないこと。ただし、センター所長が必要と認める場合についてはこの限りではない。</p> <p>(7) 第 5 条に定める一般譲渡の飼主の要件に適合し、第 6 条に定める飼主の遵守事項を守ることができる新たな飼主に譲渡すること。</p> <p>(8) 新たな飼主に譲渡するときは、動物の譲渡を受ける者に、動物の気質・性質及び飼養期間中の診療履歴を伝えるとともに、日常の飼養健康管理方法及び適正なしつけ方について十分説明すること。また、マイクロチップの所有明示の案内を行うこと。</p> |
|------|---|

| | |
|-----|--|
| | (9) 新たな飼主に譲渡するときは、センターが実施する講習会の受講を案内すること。または、センターの講習会を受講した者が当該講習会と同程度の講習を実施すること。 (10) 新たな飼主が譲渡動物を飼育するにあたっての相談に応じること。 (11) センターが実施する譲渡ボランティアの実態調査に協力すること。 |
| 団 体 | 代表者は、各一時飼養施設で飼養可能頭数を超えないように管理すること。 |

4 殺処分

(1) 殺処分及び焼却

譲渡不可能と判断された犬猫等は炭酸ガス処分機で殺処分を実施し、処分犬猫等については市立八事霊園斎場管理事務所に焼却依頼している。平成 25 年度の犬・猫等の焼却頭数は次のとおりであった。

◎平成 25 年度 焼却頭数

| 犬 | 猫 | そ の 他 | 合 計 |
|----|-------|-------|-------|
| 85 | 1,156 | - | 1,241 |

(2) 処分犬の評価

処分を決定した抑留犬は、狂犬病予防法施行令第 5 条に基づき委嘱、任命した評価人により処分犬の評価を行なっている。

本年度は、市内開業獣医師 1 名、センターの獣医師 11 名の計 12 名を評価人として委嘱、任命した。

5 愛護館における犬猫の飼養管理

(1) 展示舎（テラス犬舎、猫ルーム）における飼養

市民から持ち込まれた犬・猫、または収容期間の満了した捕獲犬の中から家庭動物又は展示動物としての適正がある犬猫を選び、愛護館に搬入している。テラス犬舎は子犬・小型の成犬用が 1 室 8 ケージ、中型犬以上の成犬用が 8 室、また、猫飼育室には猫用に 12 ケージあり、それぞれで犬・猫の飼養をしている。

(2) 譲渡用犬猫の飼養

譲渡用犬・猫は譲渡までの概ね 2 週間～2 ヶ月、健康状態・性格・くせ等を観察しながら飼養している。

(3) 事業用犬猫の飼養

特に人とふれあうことが好きな性格の良い成犬を事業犬として飼養し、ふれあい

広場やワンニャンなごやか教室等のふれあい事業に活用するのみでなく、一定のしつけを行い、しつけ教室のモデル犬や散歩犬としても活用している。

また、特に性格の良い子猫については成猫まで飼養し、事業猫として飼養し、ふれあい事業に活用している。

(4) 日常管理及び健康管理

日常の健康管理は、獣医師が中心となり、便の状態、食欲等をきめ細かく毎日観察している。

また、犬猫は管理棟からの搬入時、ふれあい事業や譲渡に備えるなど、汚れの状況により処置シャンプー室でシャンプーを行い、清潔に保っている。調子の悪い犬猫は適宜隔離し、適切な治療を施している。

4 動物愛護と適正飼養の普及啓発・指導

1 愛護館における普及啓発活動

動物愛護センターでは、動物愛護及び適正飼養の普及を目的に、愛護館の運営・開放を行っている。

(1) 開館時間

午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

平成 25 年度は、改修工事のため、平成 24 年 12 月より引き続き、年度当初から 3 月 20 日まで休館し、3 月 21 日からリニューアルオープンした。

(2) ふれあい広場

犬と直接ふれあうことができる施設として「犬のふれあい広場」を設けている。

午前 10 時、午後 1 時 30 分からの 30 分を犬のふれあい広場開催時間とし、犬のふれあい方についての説明後、犬とのふれあいを行っている。犬との正しいふれあい方と命の大切さについて学ぶ場としている。

(3) 犬ルーム

犬ルームでは、犬の展示室を 3 室備えており、直接目で見てしつけを学べる場として、開館時間中は常時、事業犬を展示している。

平成 25 年度は、トイレトレーニング、クレートトレーニングの展示を行った。

(4) 猫ルーム

猫と直接ふれあうことができる施設として「猫ルーム」を設けている。

午前 11 時、午後 2 時 30 分からの 30 分を猫ルームふれあい開催時間とし、猫の

ふれあい方についての説明後、猫とのふれあいを行っている。猫との正しいふれあい方と命の大切さについて学ぶ場としている。

また、猫ルーム内は、猫の完全室内飼育モデルルームの展示を行っており、猫ルームふれあい開催時間以外においても、事業猫を展示し、猫の完全室内飼育について、直接目で見て学べる場としている。

(5) ワンワン教室

愛護館 2 階にあり、120 インチビデオスクリーン、ビデオプロジェクター等の視聴覚装置を完備した教室で、なかよしワンワン教室、動物愛護教室、犬のしつけ方教室、パピー教室などの様々な事業に活用している。

2 動物愛護を啓発する各種教室等の開催

(1) 所内開催

動物愛護の普及啓発のため、動物愛護センター内において、各種教室を開催している。

ア 動物愛護教室

小学生、中学生、高校生、大学生及び専門学校生などの団体を対象に、愛護館に併設している管理棟で殺処分されている犬猫の現状を伝えることにより、動物との共生について考えてもらうことを目的として行う教室。

カリキュラムの基本型は、愛護館の見学、ふれあい広場等での犬猫とのふれあい体験と講義で、とくに講義では、管理棟で殺処分されている犬・猫のデータ等を示している。また、希望等がある場合は、管理棟の抑留施設などの見学を実施している。



◎開催回数と参加人数

| 小学生 | | 中学生 | | 高校生 | | 大学生 | | 専門学校生 | | その他 | | 合計 | |
|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-------|------|-----|------|----|------|
| 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 |
| 1 | 3 | 6 | 71 | 5 | 24 | 12 | 20 | 9 | 62 | 17 | 34 | 50 | 214 |

イ 動物体験教室

小学生、中学生、高校生、大学生及び専門学校生などの団体を対象に、犬猫の飼養管理を体験する教室。主に中学生による職場体験教室や、専門学校生の実習として受入れを行っている。

犬猫とのふれあい、給餌、飼養施設の清掃、ブラッシング・シャンプー・爪切りなどの手入れ、犬の散歩等の実習と、犬猫の生理、生態や動物の愛護と適正飼養等に関する講義等を実施している。

平成 25 年度は、愛護館休館に伴い、小学生、中学生、高校生対象の職場体験教室の受入れを中止した。



◎開催回数と参加人数

| 専門学校生 | | 大学生 | | その他 | | 合 計 | |
|-------|------|-----|------|-----|------|-----|------|
| 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 |
| 3 | 15 | 0 | 0 | 4 | 96 | 7 | 111 |

ウ 夏休み愛護館ガイドツアー

センターの仕事の内容や、犬猫が多数殺処分されている現状を、スライドを使ってわかりやすく説明し、動物の愛護及び終生飼養等を啓発する教室。併せて、命の尊さを伝えるために、犬猫のふれあいを行っている。

犬のふれあいについては、動物愛護推進員を中心としたボランティアとの協力により実施した。

平成 25 年度は、小中学生を対象に夏休み期間中に 2 回開催し、90 人の参加を得た。



エ もっと知って楽しく遊ぼう！－犬猫のひみつ－

夏休みに、小学生を対象に開催した。犬・猫の生理、生態や習性等についてスライドを使った説明の後に、実際に犬・猫の観察を行ったり、触れたりすることにより、犬・猫に対する正しい理解を深めた。犬のふれあいについては、動物愛護推進員を中心としたボランティアとの協力により実施した。

平成 25 年度は、1 回開催し、43 人の参加を得た。



オ 夏休み動物の飼い方教室

動物を飼う前に考えなければならないことを、実際に犬、猫、ウサギ、ハムスター、小鳥等を展示しながら説明し、併せてそれぞれの飼い方やふれあい方を解説する教室。

平成 25 年度は、夏休みに公益社団法人日本愛玩動物協会の協力を得て開催し、28 人の参加を得た。



カ 施設見学会

市民を対象に、動物愛護や適正飼養に関心を持っていただき、動物愛護について考えていただく機会として、また、改修工事の結果新しくなった施設を知っていただくため、管理棟と愛護館の見学会を開催した。見学に併せて、講義形式で犬猫の飼養状況や飼養実態を説明するとともに、センターに収容される犬猫等の様子を映像でみていただき、処分状況等を示した。

また、主に子供を対象に施設の説明をしながら、犬猫とのふれあいも体験する、犬猫ふれあいツアーを開催した。

平成 25 年度は愛護館リニューアルオープン日に開催し、施設見学会に 80 人、犬猫ふれあいツアーに 120 人が参加した。

(2) 所外開催

ア 移動ふれあい教室

幼稚園・保育園等に犬猫とともに訪問し、ふれあい事業を実施する教室。

◎開催回数と参加人数

| 幼稚園・保育園 | | その他 | | 合計 | |
|---------|-------|-----|------|----|-------|
| 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 |
| 11 | 1,266 | 3 | 328 | 14 | 1,594 |

イ 動物愛護教室（所外開催）

小学校・中学校の授業等として実際に学校を訪問し、開催する教室。移動ふれあい教室の内容に加え、犬・猫の習性や殺処分されている動物の現状を、スライドを使ってわかりやすく説明し、動物愛護と適正飼養を啓発している。

◎開催回数と参加人数

| 小学校 | | トワイライトスクール | | その他 | | 合計 | |
|-----|------|------------|------|-----|------|----|-------|
| 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 |
| 1 | 48 | 16 | 514 | 10 | 553 | 27 | 1,115 |

3 犬猫等の適正飼養を普及啓発するための教室・事業等の開催

(1) 所内開催

ア 犬のしつけ方教室

人に対する危害迷惑を防止するとともに、犬との生活をより楽しいものとするために、市民に飼犬の適正なしつけ方を指導する教室で、毎月 1 回定期的に開催した。

「しつけ方の基本」と「散歩中に排せつさせないしつけ」に関する講義、事業犬を使った犬とのふれあい方やアイコンタクト、スワレ、フセ、マテ、コイ等の基本的な服従訓練のデモンストレーション等を行ったり、ムダ吠えやかみつきの問題行動に関する相談受付を行った。

平成 25 年度は、犬のしつけ方教室を 12 回開催し、107 家族 192 人の参加を得た。

イ パピー（子犬）教室

生後 3 ヶ月から 6 ヶ月の子犬を同伴して参加する教室で、毎月 1 回定期的に開催した。

特に子犬の時期に伝えたいこととして、飼犬の性格を理解して飼犬にあったしつけをすること、子犬の時期にいろいろな経験をさせて犬に社会性を身に付けさせること、「散歩中に排せつさせないしつけ」の方法等を伝えている。子犬同士を遊ばせたり、参加者が子犬をさわったり、子犬交流会の子犬の様子を観察して行う子犬の性格判断や、基本的な犬とのふれあい方としつけ方指導等を行った。



特に子犬の時期に啓発すると効果的な「トイレのしつけ」や「散歩中に排せつさせないしつけ」を普及する絶好の機会となっている。

平成 25 年度は、12 回開催し、74 家族、165 人の参加を得た。

ウ 問題犬のためのしつけ方教室

動物愛護推進員の安田和弘ドッグトレーナーを講師として、引っ張り、飛びつき、かみ癖や鳴き癖等の飼犬の問題行動で困っている飼主を対象として開催した（開催回数 2 回、25 家族・41 人参加）。数組は犬同伴で参加した。

エ 犬猫を飼う前教室

適正な飼養を推進するため、動物を飼う前の心構え、ライフスタイルにあった動物を選ぶこと等に視点を絞った飼う前に聞いていただくことを目的とした教室を開催した。平成 25 年度は 2 回開催し、46 名の参加があった。

オ 犬のしつけ方相談

よく鳴く、かみつく等の飼犬の問題行動に悩む飼主を対象として、飼犬を同伴して来所していただき、マンツーマンでしつけ方を指導した。

平成 25 年度は、21 回開催し、34 家族 57 人が参加した。

カ 犬の散歩指導

適正な散歩の方法を啓発する目的で、事業犬を使った犬のお散歩体験教室を行った。犬のふれあい広場において、参加者に対し適正な散歩方法を説明し、参加者一組に対し事業犬一頭を貸し出し、職員が一名補助について、センター敷地内に設けたコースに従ってお散歩体験を行った。

お散歩体験教室修了者には適正な散歩の方法を啓発するために、お散歩カードを交付した。平成 25 年度の貸し出し件数は 63 件で、84 人に適正な散歩方法を指導した。

キ 犬猫等の飼育相談

飼犬、飼猫などの飼い方、しつけ方、健康管理、苦情等その他について、電話又は来訪により、相談を受け付け、アドバイスをを行った。

◎相談件数

| 犬 | 猫 | 鳥 | その他 | 計 |
|-------|-------|----|-----|-------|
| 2,687 | 1,842 | 45 | 32 | 4,606 |

(2) 所外開催

ア 狂犬病予防集合注射会場での「犬のしつけ方相談」

各区の狂犬病予防集合注射会場に出向き、しつけ方相談を行うとともに「散歩中に排せつさせないしつけ」を普及した。

平成 25 年度は、16 区 16 会場に出向き 191 件の相談を受けた。

イ 犬の移動しつけ方教室

保健所の依頼により、しつけ方教室モデル犬を同伴し、地域に出向いて犬のしつけ方教室を開催した。この教室では、「散歩中に排せつさせないしつけ」を重点的に普及した。

平成 25 年度は、23 会場で開催し、355 人の参加を得た。



◎平成 25 年度 犬の移動しつけ方教室実施状況

| | 月日 | 曜日 | 開催区 | 会場 | 人数 |
|----|--------|----|-----|---------------|----|
| 1 | 6月12日 | 水 | 昭和 | 保健所 | 4 |
| 2 | 6月26日 | 水 | 瑞穂 | 保健所 | 1 |
| 3 | 7月10日 | 水 | 緑 | 保健所 | 8 |
| 4 | 7月16日 | 火 | 名東 | 豊が丘コミュニティセンター | 9 |
| 5 | 7月23日 | 火 | 南 | つどいの館和光 | 50 |
| 6 | 7月26日 | 金 | 昭和 | 保健所 | 6 |
| 7 | 7月30日 | 火 | 東 | 保健所 | 5 |
| 8 | 7月31日 | 水 | 緑 | 保健所 | 1 |
| 9 | 10月9日 | 水 | 緑 | 保健所 | 5 |
| 10 | 10月17日 | 木 | 名東 | 保健所 | 10 |
| 11 | 10月18日 | 金 | 守山 | 守山会館 | 10 |
| 12 | 10月25日 | 金 | 港 | 西築地コミュニティセンター | 35 |
| 13 | 10月31日 | 木 | 港 | 高木コミュニティセンター | 15 |
| 14 | 11月4日 | 月 | 西 | 庄内緑地ドッグラン | 92 |
| 15 | 11月5日 | 火 | 緑 | 保健所 | 1 |
| 16 | 11月13日 | 水 | 昭和 | 保健所 | 1 |
| 17 | 11月17日 | 日 | 南 | 千鳥公園 | 46 |
| 18 | 11月20日 | 水 | 瑞穂 | 保健所 | 6 |
| 19 | 12月18日 | 水 | 守山 | 保健所 | 5 |
| 20 | 1月24日 | 金 | 北 | 保健所 | 30 |
| 21 | 2月10日 | 月 | 緑 | 保健所 | 8 |
| 22 | 2月28日 | 金 | 緑 | 保健所 | 5 |
| 23 | 3月6日 | 木 | 守山 | 保健所 | 2 |

ウ 区民祭等での啓発事業

保健所の依頼により、区民祭等の地域の催しや、啓発キャンペーン等に出向き、動物愛護、適正飼養啓発事業及び犬のしつけ方、飼い方相談を実施した。

平成 25 年度は 9 会場に出向き、327 人に啓発等を行った。

4 動物介在活動（高齢者等を対象としてやすらぎやコミュニケーションの活発化等を期待して行う動物とのふれあい活動）

（1）ワンニャンなごやか教室

センターにおいて、高齢者福祉施設である各種老人ホーム、デイサービス施設等や、児童福祉施設の利用者を対象に、犬猫とのふれあいや、しぐさの観察等により、やすらぎや癒しを体感していただき日々におけるストレスの軽減、コミュニケーションの活発化及び社会性の改善等を期待して行う教室を行った。

また、各種高齢者福祉施設等に犬・猫とともに訪問して動物介在活動を行う、移動ワンニャンなごやか教室を行った。

◎開催回数と参加人数

| | 高齢者福祉施設 | | 福祉施設(その他) | | 合 計 | |
|------|---------|------|-----------|------|-----|------|
| | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 | 回数 | 参加人数 |
| 所内開催 | - | - | - | - | - | - |
| 所外開催 | 22 | 873 | - | - | 22 | 873 |

（2）高齢者とワンニャンふれあい広場

10月を「高齢者とワンニャンふれあい月間」とし、近隣のデイサービス通所施設等の高齢者を招待し、動物愛護推進員や、ボランティア（NPO法人ドッグレクリエーション協会及びスウィングテイル）との協働により、芝生広場で犬のふれあいとドッグダンスの観覧をしていただいた。室内においては猫とのふれあいを行い、楽しいひと時を過ごしていただいた。

平成25年度は、延べ10の高齢者デイサービス施設等の高齢者福祉施設から113人の参加があった。



5 動物愛護週間行事

動物フェスティバル2013 なごやか

平成25年10月13日（日）に、中区久屋大通公園で開催された動物フェスティバルに「動物愛護センターコーナー」を設け、動物愛護センター事業紹介、犬のしつけ方相談、動物愛護ビンゴクイズ、譲渡犬猫写真展等を行った。また、ステージ行事として、なごやかキャットサポーター活動に関する劇を実施し普及を呼びかけた。

主な催しの参加人数は、次のとおりであった。

◎動物フェスティバル 2013 なごや 参加人数

| | しつけ方 相談 | 動物愛護 ビュッケイズ | 譲渡犬猫 写真展 | 事業紹介 | 犬猫譲渡 普及講演 |
|------|------------|----------------|-------------|------|--------------|
| 参加人数 | 100 | 650 | 650 | 200 | 200 |

また、動物愛護推進員はその活動を周知することを目的に、「動物愛護推進員活動紹介」ブースを設けて参加し、長寿犬への表彰、松ぼっくり動物づくりを通じた動物愛護教室や、ペットのなんでも相談会を行った。ブースにおいては、動物愛護推進員の活動結果を掲示した。

犬の正しいふれあい方についての寸劇を行い、来場者への周知を図った。

◎動物フェスティバル 2013 なごや 動物愛護推進員ブース参加人数

| | 長寿犬 表彰 | 松ぼっくり 動物づくり | ペットのなん でも相談会 | 推進員 活動紹介 | 正しいふれ あい寸劇 |
|------|-----------|----------------|-----------------|-------------|---------------|
| 参加人数 | 50 | 300 | 150 | 1,000 | 200 |

(3) 動物慰霊祭

センターで処分された犬猫の霊を慰めるため、平成 25 年 9 月 25 日（水）、センターの慰霊碑前において、名古屋市獣医師会関係者や保健所等関係機関職員が参列して、動物慰霊祭を挙行了した。

6 猫問題への対応

(1) 猫の移動飼い方教室・なごやかキヤット説明会への協力

市民からの要望に応じた保健所の依頼により、地域で猫の飼い方教室を開催した。猫の習性、病気等について説明するとともに、室内飼育の必要性や工夫、方法等について説明を行った。また、地域で開催されるなごやかキヤット（名古屋版地域猫活動）説明会に保健所の要請に応じて協力し、なごやかキヤットサポーター活動等について説明を行った。

平成 25 年度は猫の移動飼い方教室を 3 回（14 人参加）、なごやかキヤット説明会を 1 回（9 人参加）実施した。

(2) 猫の保護器の貸し出し

特定の飼主のいない猫に対する避妊去勢を目的に、猫の保護を希望する市民に対して、保護器の貸し出しを行った。

平成 25 年度は 16 件の保護器の貸し出しを行った。

7 所有明示の推進

マイクロチップによる所有明示の普及を目的として、譲渡動物に対してマイクロチップの装着を行った。また、収容動物についてはマイクロチップの読み取りを実施した。

(1) 譲渡動物・返還動物へのマイクロチップの装着

平成 21 年度から、センターでは、マイクロチップを装着したうえで、動物を譲渡している。

◎平成 25 年度マイクロチップ装着数

| | 譲渡 | 返還 | 計 |
|-----|-----|----|-----|
| 犬 | 71 | 6 | 77 |
| 猫 | 163 | - | 163 |
| その他 | 1 | - | 1 |

(2) マイクロチップの読み取り

マイクロチップリーダー（ハンディ型、スティック型、据え置き型）を活用し、センターに収容される動物（自活不能猫を除く）について、マイクロチップの読み取りを行った。

8 避妊去勢手術の推進

犬・猫の不必要な繁殖による迷惑防止を目的に、犬・猫の飼主に対する避妊去勢手術補助券を、センター窓口において交付した。

| | 避妊手術 | 去勢手術 |
|---|------|------|
| 犬 | 12 | 6 |
| 猫 | 32 | 20 |

9 災害時におけるペット対策

(1) 被災動物救護物資の備蓄

災害発生時に被災動物を収容できるよう、常時、犬 100 頭、猫 50 匹に対して 10 日分のドッグフード、キャットフード及び医薬品等の備蓄を行っている。

(2) 飼主への啓発

愛護館の展示物、掲示物や各種教室等において、災害への備えについて飼主への啓発を行った。

5 動物愛護推進員の活動の推進

1 動物愛護推進員関連事業の開催及び協力

(1) 動物愛護推進員交流会の開催

－動物愛護推進員ミーティング 2013in 平和公園－

平成 25 年 4 月 20 日（土）、動物愛護推進員同士の連携づくり及び市民への動物愛護推進員制度の紹介、動物愛護、適正飼養普及啓発を目的に、千種区平和公園及び動物愛護センターワンワン教室において、動物愛護推進員、動物愛護センター及び保健所合同で犬・猫一斉マナーアップキャンペーン、動物愛護センター紹介、動物愛護推進員交流会を行った。27 名の動物愛護推進員及び 1 名の名古屋市動物愛護管理推進協議会委員が参加した。



(2) 動物愛護推進員講演会の開催

1 月 13 日（月）、愛護館 2 階ワンワン教室にて、動物愛護推進員を対象に、日本獣医生命科学大学講師の入交眞巳氏を講師として、「猫の飼育管理について～猫の習性を知り、猫の気持ちを理解しよう～」と題した講演会を開催した。動物愛護推進員 25 名が参加した。

(3) 動物愛護推進員活動報告会の開催

3 月 13 日（水）、動物愛護推進員がそれぞれの一年間の活動内容を報告する活動報告会を実施した。47 名の動物愛護推進員から活動報告書が提出され、当日参加した 21 名の動物愛護推進員がそれぞれの活動結果について報告を行った。

(4) 動物愛護推進員活動の調整

ア 保健所と動物愛護推進員との連絡調整

保健所のまちづくり推進活動や、動物愛護及び適正飼養普及啓発活動に対し、動物愛護推進員の紹介や、活動への協力依頼等を行った。

イ NDAS ニュースの発行

センターから動物愛護推進員への情報伝達及び動物愛護推進員同士の情報共有

を目的に、ニュース形式で文書を送付する「NDAS ニュース」の発行を行った。
平成 25 年度は、Vol.14～Vol.25 まで計 12 回発行した。

2 動物愛護推進員との協働事業の実施

動物愛護センター及び保健所で開催した以下の事業について、動物愛護推進員との協働により実施した。

(1) 動物愛護センター開催

| | 事項 | 開催日数 | 参加 |
|----|---------------------|------|----|
| 1 | 犬猫飼う前教室 | 1 | 1 |
| 2 | 移動ワンニャンなごやか教室 | 2 | 2 |
| 3 | 夏休み児童館ふれあい事業 | 7 | 13 |
| 4 | 動物愛護センターガイドツアー | 1 | 3 |
| 5 | 夏休み動物の飼い方教室 | 1 | 2 |
| 6 | パピー教室 | 2 | 2 |
| 7 | しつけ方教室 | 1 | 1 |
| 8 | 平和公園パトロール | 1 | 21 |
| 9 | 出張高齢者ふれあい広場 | 2 | 4 |
| 10 | 動物フェスティバル 2013 | 1 | 18 |
| 11 | 触れて！見て！感じて！知って！猫のこと | 1 | 1 |
| 12 | 問題犬のためのしつけ方教室 | 6 | 6 |
| 13 | リニューアルオープンイベント、 | 1 | 15 |
| 14 | センター収容動物のケア | 2 | 3 |
| 15 | その他イベントにおける動物愛護普及 | 1 | 3 |

(2) 保健所開催事業

| | 事項 | 開催日数 | 参加 |
|---|-------------------|------|----|
| 1 | しつけ方教室等 | 3 | 7 |
| 2 | 快適なまちづくり活動 | 3 | 4 |
| 3 | 飼育相談等 | 1 | 1 |
| 4 | 地域猫活動普及 | 1 | 1 |
| 5 | その他イベントにおける動物愛護普及 | 3 | 8 |

3 動物愛護推進員の自主的な活動の支援

動物愛護推進員の自主的な活動についての相談に応じ、活動支援を行った。平成25年度は13件の活動計画書を受け付けた。

◎動物愛護推進員の自主的な活動

| | 事項 | 参加 |
|----|--------------------------|----|
| 1 | 高齢世帯猫多頭飼い改善 | 3 |
| 2 | 小学校 動物ふれあい教室 | 1 |
| 3 | 収容動物を家族へ返す活動 | 1 |
| 4 | 庄内緑地ドッグウォーキング（春） | 2 |
| 5 | しつけ教室 | 3 |
| 6 | 動物介在活動啓発教室 | 1 |
| 7 | 平和公園の清掃活動 | 1 |
| 8 | 猫の飼主募集活動 | 1 |
| 9 | 庄内緑地わんわんふれあい広場 | 1 |
| 10 | 庄内緑地ドッグウォーキング（秋） | 3 |
| 11 | ドッグランにおけるしつけ方教室 | 3 |
| 12 | ショッピングモールにおけるのら猫相談会・パネル展 | 2 |
| 13 | 動物愛護教室 | 1 |

6 特定動物飼養者への指導

1 許可及び監視指導

動物の愛護及び管理に関する法律に定める特定動物の飼養・保管の許可に関する手続き及び飼養施設の監視指導を行っている。

平成25年度の許可及び監視件数は、以下のとおりだった。

◎特定動物の許可及び監視

| | |
|--------------------------|-----|
| 飼養・保管許可申請件数 (変更許可を含む) | 12 |
| 許可件数 (平成 26 年 3 月末現在) | 110 |
| 立入調査件数 | 131 |
| 指導件数 | 20 |

◎特定動物一覧

| 綱 | 目 | 科 | 属 | 種名 | 許可 件数 |
|---------|--------|----------|-----------|-----------|----------|
| 哺乳綱 | 霊長目 | おまきざる科 | クモザル属 | ジェフロイクモザル | 1 |
| | | おながざる科 | マカク属 | シシオザル | 1 |
| | | | | ニホンザル | 2 |
| | | | | クロザル | 1 |
| | | | リーフモンキー属 | ハヌマンラングール | 1 |
| | | | | シルバールトン | 1 |
| | | | ヒヒ属 | マントヒヒ | 1 |
| | | | | ドグエラヒヒ | 1 |
| | | | マンドリル属 | マンドリル | 1 |
| | | | オナガザル属 | サバンナモンキー | 1 |
| | | | | ダイアナモンキー | 1 |
| | | ブラッサグエノン | | 2 | |
| | | パタスモンキー属 | パタスザル | 1 | |
| | | コロブス属 | アビシニアコロブス | 1 | |
| | | てながざる科 | テナガザル属 | ボルネオテナガザル | 1 |
| | | | | フクロテナガザル | 1 |
| | | ひと科 | オランウータン属 | オランウータン | 1 |
| チンパンジー属 | チンパンジー | | 1 | | |

| | | | | | |
|-----|-------|---------|----------|------------|---|
| | | | ゴリラ属 | ニシローランドゴリラ | 1 |
| 食肉目 | いぬ科 | イヌ属 | | タイリクオオカミ | 2 |
| | | | | セグロジャッカル | 1 |
| | くま科 | | ツキノワグマ属 | ニッポンツキノワグマ | 1 |
| | | | メガネグマ属 | メガネグマ | 1 |
| | | | クマ属 | ヒグマ | 2 |
| | | | ホッキョクグマ属 | ホッキョクグマ | 1 |
| | | | マレーグマ属 | マレーグマ | 1 |
| | ハイエナ科 | シマハイエナ属 | シマハイエナ | 1 | |
| | ねこ科 | ネコ属 | | カラカル | 2 |
| | | | | サーバル | 4 |
| | | | | スナドリネコ | 1 |
| | | ヒョウ属 | | ユキヒョウ | 1 |
| | | | | トラ | 1 |
| | | | | ヒョウ | 2 |
| | | | | ジャガー | 1 |
| | | ライオン | 3 | | |
| 長鼻目 | ぞう科 | アジアゾウ属 | アジアゾウ | 2 | |
| | | アフリカゾウ属 | アフリカゾウ | 1 | |
| 奇蹄目 | さい科 | インドサイ属 | インドサイ | 1 | |
| | | クロサイ属 | クロサイ | 1 | |
| 偶蹄目 | かば科 | カバ属 | カバ | 1 | |
| | | コビトカバ属 | コビトカバ | 1 | |
| | きりん科 | キリン属 | アミメキリン | 2 | |
| | うし科 | バイソン属 | アメリカバイソン | 1 | |
| 鳥綱 | たか目 | コンドル科 | | トキイロコンドル | 1 |
| | | | | コンドル | 1 |
| | | たか科 | | ハクトウワシ | 1 |
| 爬虫綱 | かめ目 | かみつしがめ科 | | ワニガメ | 9 |
| | とかげ目 | どくとかげ科 | | アメリカドクトカゲ | 3 |

| | | | | |
|-----|---------|--|-------------|----|
| | おおとかげ科 | | ハナブトオオトカゲ | 1 |
| | ボア科 | | ボアコンストリクター | 11 |
| | | | オオアナコンダ | 2 |
| | | | インドニシキヘビ | 6 |
| | | | アミメニシキヘビ | 3 |
| | | | アフリカニシキヘビ | 1 |
| | コブラ科 | | ヒロオウミヘビ | 1 |
| | | | エラブウミヘビ | 1 |
| わに目 | アリゲーター科 | | ミシシッピーワニ | 1 |
| | | | ヨウスコウワニ | 3 |
| | | | コビトカイマン | 3 |
| | | | ブラジルカイマン | 2 |
| | クロコダイル科 | | ナイルワニ | 1 |
| | | | ニシアフリカコガタワニ | 1 |
| | | | シャムワニ | 1 |
| | ガビアル科 | | インドガビアル | 1 |

2 逃走特定動物への対策

逃走特定動物（疑いを含む）への対応として、管理指導班が現場等へ3件（ワニガメ3件）出動を行った。

7 動物取扱業者への指導

1 登録等及び監視指導

動物の愛護及び管理に関する法律に定める第一種及び第二種動物取扱業に関する手続き及び事業所の監視指導を行っている。

ア 第一種動物取扱業

| | |
|---------------------------|-----|
| 登録申請件数 (登録更新申請を含む) | 124 |
| 諸届出件数 | 504 |
| 登録数(種別ごと) (平成26年3月末時点) | 859 |
| 事業所数 | 643 |
| 立入り監視件数 | 498 |

イ 第二種動物取扱業

| | |
|-----------------------------|----|
| 届出件数 | 16 |
| 諸届出件数 | 1 |
| 届出施設数(種別ごと) (平成26年3月末時点) | 15 |
| 飼養施設数 | 10 |
| 立入り監視件数 | 8 |

2 動物取扱責任者研修

名古屋市動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、動物取扱責任者になろうとする者等に対し、動物取扱責任者認定研修(認定研修)を実施している。平成 25 年度は 2 回実施した。

また、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく動物取扱責任者研修(継続研修)を 4 回実施した。平成 25 年度は、改正された動物の愛護及び管理に関する法律が 9 月に施行され、犬猫等販売業者への規制が強化されたこともあり、7 月、8 月に開催した継続研修は、犬猫等販売業者向けとして実施した。

| 区別 | 開催日 | 受講者数(人) |
|------|-------|---------|
| 認定研修 | 9月3日 | 23 |
| | 2月5日 | 27 |
| 継続研修 | 7月23日 | 106 |
| | 8月23日 | 114 |
| | 1月23日 | 255 |
| | 2月10日 | 152 |

8 人獣共通感染症対策

1 啓発・指導

ふれあい広場、各種動物愛護・適正飼養教室において、「動物をさわった後は手を洗いましょう」を中心に人獣共通感染症の感染予防について啓発した。動物取扱業者に対しては、動物取扱責任者研修において人獣共通感染症に関する講習を実施した。動物とのふれあいを行う事業者に対しては、利用者が手洗い等を適正に行えるよう施設立入時に指導を行った。

2 事業犬及び事業猫の糞便検査

ふれあい等に供する事業犬、事業猫の糞便について、定期的にサルモネラ、O157、カンピロバクターの検査を実施した。平成 25 年度は、79 検体について検査を実施した。

9 関係機関一覧

| 関係機関名 | 所在地 | 電話 | FAX |
|-------------------|------------------------------|----------|----------|
| 健康福祉局 健康部食品衛生課 | 〒460-8508 中区三の丸三丁目1-1 | 972-2649 | 955-6225 |
| 八事霊園・ 斎場管理事務所 | 〒468-0071 天白区天白町大字八事字裏山69 | 832-1750 | 832-7759 |
| 千種保健所 | 〒464-0841 千種区覚王山通8-37 | 753-1971 | 751-3545 |
| 東保健所 | 〒461-0003 東区筒井一丁目7-74 | 934-1212 | 937-5145 |
| 北保健所 | 〒462-0844 北区清水四丁目17-1 | 917-6547 | 911-2343 |
| 西保健所 | 〒451-8508 西区花の木二丁目18-1 | 523-4612 | 531-2000 |
| 中村保健所 | 〒453-0024 中村区名楽町4-7-18 | 481-2278 | 481-2210 |
| 中保健所 | 〒460-8447 中区栄四丁目1-8 | 265-2257 | 265-2259 |
| 昭和保健所 | 〒466-0027 昭和区阿由知通3-19 | 735-3959 | 731-0957 |
| 瑞穂保健所 | 〒467-0027 瑞穂区田辺通3-45-2 | 837-3253 | 837-3291 |
| 熱田保健所 | 〒456-0031 熱田区神宮三丁目1-15 | 683-9678 | 681-5169 |
| 中川保健所 | 〒454-0911 中川区高畑一丁目223 | 363-4457 | 361-2175 |
| 港保健所 | 〒455-0015 港区港栄二丁目2-1 | 651-6486 | 651-5144 |
| 南保健所 | 〒457-0833 南区東又兵衛町五丁目1-1 | 614-2865 | 614-2818 |
| 守山保健所 | 〒463-0011 守山区小幡一丁目3-1 | 796-4617 | 796-0040 |
| 緑保健所 | 〒458-0033 緑区相原郷一丁目715 | 891-3632 | 891-5110 |
| 名東保健所 | 〒465-0025 名東区上社二丁目50 | 778-3107 | 773-6212 |
| 天白保健所 | 〒468-0056 天白区島田二丁目201 | 807-3907 | 803-1251 |

Ⅲ 統 計

1 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業

(1) 区別

| | 捕獲犬(頭) | | | | 引取犬(頭) | | | | 返還犬(頭) *1 | 譲渡犬(頭) | | | 鑑札交付(件) | | | 予防注射(件) | | | 注射済票交付(件) | | | マイクロチップ装着(件) | | | 措置命令(件) *2 | 命令違反(件) *2 | 引取猫(頭) | | | 自活不能猫(頭) | 負傷動物(頭) | | | |
|----|--------|----|---------|-----|--------|----|---------|-----|--------------|--------|----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|-----------|-----|-----|--------------|-----|-----|---------------|---------------|--------|-----|-----|----------|---------|-----|---|-------|
| | 成犬 | 子犬 | 観察犬(再掲) | 計 | 成犬 | 子犬 | 観察犬(再掲) | 計 | | 成犬 | 子犬 | 計*2 | 返還犬 | 譲渡犬 | 計*2 | 返還犬 | 譲渡犬 | 計*2 | 返還犬 | 譲渡犬 | 計*2 | 返還犬 | 譲渡犬 | 計*2 | | | 返還犬 | 譲渡犬 | 計 | | 成猫 | 子猫 | 計 | 犬(再掲) |
| 千種 | 20 | - | (-) | 20 | 3 | - | (-) | 3 | 11 | 12 | - | 12 | 2 | 9 | 11 | 3 | 10 | 13 | 3 | 9 | 12 | - | 10 | 10 | - | - | 17 | 18 | 35 | 105 | (1) | 15 | - | 16 |
| 東 | 4 | - | (-) | 4 | - | - | (-) | - | 3 | 1 | - | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 3 | - | 1 | 1 | - | - | 3 | - | 3 | 30 | (-) | 6 | - | 6 |
| 北 | 15 | - | (-) | 15 | 8 | - | (-) | 8 | 12 | 5 | - | 5 | 2 | 5 | 7 | 3 | 5 | 8 | 3 | 5 | 8 | - | 5 | 5 | - | - | 29 | 18 | 47 | 38 | (2) | 7 | - | 9 |
| 西 | 18 | 1 | (1) | 19 | 6 | - | (-) | 6 | 12 | 5 | 2 | 7 | 2 | 6 | 8 | 4 | 6 | 10 | 4 | 6 | 10 | - | 6 | 6 | - | - | 14 | 9 | 23 | 43 | (-) | 17 | - | 17 |
| 中村 | 10 | - | (-) | 10 | 11 | - | (-) | 11 | 6 | 5 | - | 5 | 3 | 5 | 8 | 4 | 5 | 9 | 4 | 5 | 9 | - | 4 | 4 | - | - | 16 | 20 | 36 | 65 | (-) | 14 | - | 14 |
| 中 | 8 | - | (1) | 8 | 6 | - | (-) | 6 | 4 | 3 | - | 3 | 2 | - | 2 | 2 | - | 2 | 2 | - | 2 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 | 48 | (-) | 8 | - | 8 |
| 昭和 | 13 | - | (-) | 13 | 3 | - | (-) | 3 | 10 | 2 | - | 2 | 3 | 2 | 5 | 3 | 2 | 5 | 4 | 2 | 6 | - | 2 | 2 | - | - | 2 | 8 | 10 | 29 | (-) | 13 | - | 13 |
| 瑞穂 | 9 | - | (-) | 9 | - | - | (-) | - | 8 | 4 | - | 4 | 1 | 4 | 5 | 1 | 4 | 5 | 1 | 4 | 5 | - | 3 | 3 | - | - | 7 | 10 | 17 | 38 | (-) | 9 | - | 9 |
| 熱田 | 15 | - | (-) | 15 | 4 | - | (-) | 4 | 12 | 2 | - | 2 | 3 | - | 3 | 6 | 2 | 8 | 6 | - | 6 | - | 2 | 2 | - | - | 2 | 15 | 17 | 25 | (1) | 3 | - | 4 |
| 中川 | 22 | - | (-) | 22 | 19 | - | (-) | 19 | 17 | 2 | - | 2 | 10 | 2 | 12 | 10 | 2 | 12 | 10 | 2 | 12 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 | 44 | 56 | 78 | (3) | 26 | - | 29 |
| 港 | 32 | - | (-) | 32 | 15 | 1 | (1) | 16 | 18 | 2 | - | 2 | 2 | 2 | 4 | 5 | 2 | 7 | 5 | 2 | 7 | 1 | 2 | 3 | - | - | 34 | 20 | 54 | 75 | (1) | 11 | - | 12 |
| 南 | 20 | 1 | (-) | 21 | 11 | - | (1) | 11 | 11 | 2 | - | 2 | 3 | 2 | 5 | 7 | 2 | 9 | 8 | 2 | 10 | 1 | 2 | 3 | - | - | 10 | 6 | 16 | 56 | (1) | 17 | - | 18 |
| 守山 | 19 | - | (-) | 19 | 5 | - | (-) | 5 | 13 | 5 | - | 5 | 3 | 3 | 6 | 3 | 3 | 6 | 3 | 3 | 6 | 1 | 2 | 3 | - | - | 2 | 38 | 40 | 37 | (1) | 11 | - | 12 |
| 緑 | 21 | - | (-) | 21 | 7 | 3 | (-) | 10 | 18 | 4 | - | 4 | 5 | 5 | 10 | 8 | 5 | 13 | 8 | 5 | 13 | 1 | 4 | 5 | 1 | - | 10 | 52 | 62 | 41 | (-) | 7 | - | 7 |
| 名東 | 18 | - | (-) | 18 | 8 | - | (-) | 8 | 15 | 10 | - | 10 | 2 | 9 | 11 | 5 | 9 | 14 | 5 | 9 | 14 | - | 5 | 5 | - | - | 7 | 14 | 21 | 40 | (-) | 11 | - | 11 |
| 天白 | 24 | - | (-) | 24 | 5 | - | (-) | 5 | 21 | 5 | - | 5 | 3 | 5 | 8 | 3 | 5 | 8 | 7 | 5 | 12 | 2 | 3 | 5 | 2 | - | 48 | 31 | 79 | 34 | (-) | 5 | - | 5 |
| 市外 | - | - | (-) | - | - | - | (-) | - | - | 31 | 1 | 32 | - | - | - | - | 15 | 15 | - | - | - | - | 19 | 19 | - | - | - | - | - | - | (-) | - | - | - |
| 合計 | 268 | 2 | (2) | 270 | 111 | 4 | (2) | 115 | 191 | 100 | 3 | 103 | 47 | 60 | 107 | 69 | 78 | 147 | 75 | 60 | 135 | 6 | 71 | 77 | 4 | 1 | 214 | 303 | 517 | 782 | (10) | 180 | - | 190 |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合 市外からの引取りは他自治体からの譲受け

*1捕獲した区で計上

*2当該犬の所在地の区で計上

(2) 月別

| | 捕獲犬(頭) | | | | 引取犬(頭) | | | | 返還犬(頭) | 譲渡犬(頭) | | | 鑑札交付(件) | | | 予防注射(件) | | | 注射済票交付(件) | | | マイクロチップ装着(件) | | | 措置命令(件) | 命令違反(件) | 引取猫(頭) | | | 自活不能猫(頭) | 負傷動物(頭) | | | |
|-----|--------|----|---------|-----|--------|----|---------|-----|--------|--------|----|-----|---------|-----|-----|---------|-----|-----|-----------|-----|-----|--------------|-----|----|---------|---------|--------|-----|-----|----------|---------|-----|-----|-----|
| | 成犬 | 子犬 | 観察犬(再掲) | 計 | 成犬 | 子犬 | 観察犬(再掲) | 計 | | 成犬 | 子犬 | 計 | 返還犬 | 譲渡犬 | 計 | 返還犬 | 譲渡犬 | 計 | 返還犬 | 譲渡犬 | 計 | 返還犬 | 譲渡犬 | 計 | | | 成猫 | 子猫 | 計 | | 犬(再掲) | 猫 | その他 | 計 |
| 4月 | 22 | 1 | (-) | 23 | 11 | - | (-) | 11 | 13 | 11 | 1 | 12 | 1 | 5 | 6 | 7 | 7 | 14 | 7 | 5 | 12 | 2 | 9 | 11 | - | - | 9 | 35 | 44 | 198 | (2) | 12 | - | 14 |
| 5月 | 29 | 1 | (1) | 30 | 8 | - | (-) | 8 | 18 | 8 | - | 8 | 2 | 6 | 8 | 10 | 7 | 17 | 10 | 6 | 16 | 2 | 6 | 8 | - | - | 7 | 36 | 43 | 185 | (4) | 18 | - | 22 |
| 6月 | 18 | - | (-) | 18 | 10 | - | (-) | 10 | 13 | 6 | - | 6 | 4 | 3 | 7 | 3 | 5 | 8 | 3 | 3 | 6 | - | 4 | 4 | - | - | 22 | 54 | 76 | 76 | (-) | 27 | - | 27 |
| 7月 | 34 | - | (-) | 34 | 13 | - | (-) | 13 | 26 | 16 | - | 16 | 6 | 12 | 18 | 10 | 13 | 23 | 11 | 12 | 23 | - | 10 | 10 | 1 | - | 10 | 78 | 88 | 107 | (1) | 18 | - | 19 |
| 8月 | 23 | - | (-) | 23 | 15 | - | (-) | 15 | 19 | 5 | - | 5 | 2 | 2 | 4 | 2 | 4 | 6 | 2 | 2 | 4 | - | 4 | 4 | 1 | - | 17 | 35 | 52 | 84 | (2) | 10 | - | 12 |
| 9月 | 29 | - | (1) | 29 | 3 | - | (-) | 3 | 26 | 8 | - | 8 | 7 | 6 | 13 | 9 | 8 | 17 | 9 | 6 | 15 | - | 6 | 6 | - | - | 12 | 36 | 48 | 54 | (-) | 13 | - | 13 |
| 10月 | 20 | - | (-) | 20 | 6 | 1 | (1) | 7 | 8 | 9 | - | 9 | 6 | 5 | 11 | 6 | 7 | 13 | 7 | 5 | 12 | - | 5 | 5 | - | 1 | 48 | 8 | 56 | 24 | (1) | 28 | - | 29 |
| 11月 | 20 | - | (-) | 20 | 7 | - | (-) | 7 | 15 | 6 | - | 6 | 5 | 3 | 8 | 8 | 6 | 14 | 9 | 3 | 12 | - | 6 | 6 | - | - | 16 | 12 | 28 | 7 | (-) | 19 | - | 19 |
| 12月 | 26 | - | (-) | 26 | 5 | - | (-) | 5 | 20 | 15 | - | 15 | 5 | 5 | 10 | 7 | 6 | 13 | 7 | 5 | 12 | 2 | 8 | 10 | 2 | - | 23 | 9 | 32 | 4 | (-) | 6 | - | 6 |
| 1月 | 20 | - | (-) | 20 | 6 | - | (-) | 6 | 13 | 4 | - | 4 | 2 | 3 | 5 | 1 | 4 | 5 | 1 | 3 | 4 | - | 4 | 4 | - | - | 5 | - | 5 | - | (-) | 9 | - | 9 |
| 2月 | 12 | - | (-) | 12 | 6 | 3 | (-) | 9 | 9 | 7 | - | 7 | 4 | 3 | 7 | 2 | 4 | 6 | 4 | 3 | 7 | - | 4 | 4 | - | - | 9 | - | 9 | 7 | (-) | 8 | - | 8 |
| 3月 | 15 | - | (-) | 15 | 21 | - | (1) | 21 | 11 | 5 | 2 | 7 | 3 | 7 | 10 | 4 | 7 | 11 | 5 | 7 | 12 | - | 5 | 5 | - | - | 36 | - | 36 | 36 | (-) | 12 | - | 12 |
| 合計 | 268 | 2 | (2) | 270 | 111 | 4 | (2) | 115 | 191 | 100 | 3 | 103 | 47 | 60 | 107 | 69 | 78 | 147 | 75 | 60 | 135 | 6 | 71 | 77 | 4 | 1 | 214 | 303 | 517 | 782 | (10) | 180 | - | 190 |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合

2 捕獲及び返還状況

(1) 区別

単位：頭

| | 捕 獲 方 法 | | | | | | 返還犬の飼育日数 | | | | | | | | | | |
|----|------------------|-------------|------------------|-------------|-------------|-----|-------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|-----|----|
| | 通 常 捕 獲 | 捕 獲 箱 | 薬 物 掃 討 | 麻 酔 銃 | 吹 き 矢 | 計 | 0 日 (抑 留 日) | 1 日 | 2 日 | 3 日 | 4 日 | 5 日 | 6 日 | 7 日 | 8 日 以上 | 計 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 千種 | 20 | - | - | - | - | 20 | 7 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 11 |
| 東 | 4 | - | - | - | - | 4 | 2 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 3 |
| 北 | 15 | - | - | - | - | 15 | 6 | 2 | 1 | 1 | - | 1 | - | 1 | - | 12 | |
| 西 | 19 | - | - | - | - | 19 | 3 | 4 | 2 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | 12 | |
| 中村 | 10 | - | - | - | - | 10 | 2 | 3 | - | - | - | - | - | 1 | - | 6 | |
| 中 | 8 | - | - | - | - | 8 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 | 4 | |
| 昭和 | 13 | - | - | - | - | 13 | 4 | 6 | - | - | - | - | - | - | - | 10 | |
| 瑞穂 | 9 | - | - | - | - | 9 | 1 | 5 | - | 1 | - | 1 | - | - | - | 8 | |
| 熱田 | 15 | - | - | - | - | 15 | 2 | 5 | 1 | - | 2 | 1 | - | - | 1 | 12 | |
| 中川 | 22 | - | - | - | - | 22 | 4 | 6 | 1 | 2 | 1 | - | 1 | - | 2 | 17 | |
| 港 | 32 | - | - | - | - | 32 | 7 | 5 | 3 | - | 1 | 1 | - | - | 1 | 18 | |
| 南 | 21 | - | - | - | - | 21 | 4 | 5 | 1 | - | - | - | - | - | 1 | 11 | |
| 守山 | 19 | - | - | - | - | 19 | 5 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | 14 | |
| 緑 | 21 | - | - | - | - | 21 | 4 | 6 | 4 | - | - | 2 | 1 | - | 1 | 18 | |
| 名東 | 18 | - | - | - | - | 18 | 8 | 4 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | 15 | |
| 天白 | 24 | - | - | - | - | 24 | 7 | 11 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | 20 | |
| 合計 | 270 | - | - | - | - | 270 | 68 | 69 | 18 | 8 | 7 | 7 | 3 | 2 | 9 | 191 | |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合

(2) 月別

単位：頭

| | 捕 獲 方 法 | | | | | | 返還犬の飼育日数 | | | | | | | | | |
|-----|------------------|-------------|------------------|-------------|-------------|-----|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------------------|-----|
| | 通 常 捕 獲 | 捕 獲 箱 | 薬 物 掃 討 | 麻 酔 銃 | 吹 き 矢 | 計 | 0 日 (抑 留 日) | 1 日 | 2 日 | 3 日 | 4 日 | 5 日 | 6 日 | 7 日 | 8 日 以 上 | 計 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 22 | 1 | - | - | - | 23 | 5 | 4 | 1 | - | 1 | - | 1 | - | 1 | 13 |
| 5月 | 29 | 1 | - | - | - | 30 | 9 | 5 | - | 2 | - | 1 | - | - | 1 | 18 |
| 6月 | 18 | - | - | - | - | 18 | 4 | 6 | 1 | - | - | - | 1 | - | 1 | 13 |
| 7月 | 34 | - | - | - | - | 34 | 8 | 8 | 3 | 1 | 4 | 1 | - | 1 | - | 26 |
| 8月 | 23 | - | - | - | - | 23 | 6 | 5 | 5 | 1 | - | 1 | - | - | 1 | 19 |
| 9月 | 29 | - | - | - | - | 29 | 12 | 9 | 2 | 2 | - | 1 | - | - | - | 26 |
| 10月 | 20 | - | - | - | - | 20 | 2 | 3 | - | - | - | 1 | - | - | 2 | 8 |
| 11月 | 20 | - | - | - | - | 20 | 3 | 5 | 3 | 1 | 1 | - | - | - | 2 | 15 |
| 12月 | 26 | - | - | - | - | 26 | 6 | 10 | 2 | - | 1 | - | 1 | - | - | 20 |
| 1月 | 20 | - | - | - | - | 20 | 6 | 6 | - | - | - | 1 | - | - | - | 13 |
| 2月 | 12 | - | - | - | - | 12 | 3 | 3 | - | 1 | - | 1 | - | 1 | - | 9 |
| 3月 | 15 | - | - | - | - | 15 | 4 | 5 | 1 | - | - | - | - | - | 1 | 11 |
| 合計 | 268 | 2 | - | - | - | 270 | 68 | 69 | 18 | 8 | 7 | 7 | 3 | 2 | 9 | 191 |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合

3 指導班活動状況

(1) 区別

単位：件

| | 捕獲 | 自活不能猫 | 負傷動物 | 巡回調査 | 動物取扱業監視 | 特定動物監視 | 愛護 | | | | | | | | | | | その他 | 合計 | |
|----|-----|-------|------|------|---------|--------|----------|----------|---------------|------------|------------------|------------------|---------------|-----------|------------|------|-----|-----|----|-----|
| | | | | | | | 移動ふれあい教室 | 移動動物愛護教室 | 移動ワンニャンなごやか教室 | 犬の移動しつけ方教室 | 犬のしつけ方相談（集合注射会場） | 犬のしつけ方相談（区民まつり等） | しつけ・飼い方指導（個別） | 猫の移動飼い方教室 | 動物愛護普及啓発活動 | 巡回指導 | その他 | | | 計 |
| 千種 | 13 | 10 | 12 | - | 28 | 61 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 112 |
| 東 | 4 | 5 | 6 | - | 30 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 41 |
| 北 | 20 | 12 | 8 | - | 23 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 45 |
| 西 | 28 | 6 | 22 | - | 31 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 61 |
| 中村 | 11 | 21 | 17 | - | 27 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 65 |
| 中 | 8 | 15 | 9 | - | 32 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 58 |
| 昭和 | 11 | 10 | 13 | - | 21 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 45 |
| 瑞穂 | 10 | 10 | 11 | - | 19 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 41 |
| 熱田 | 14 | 7 | 6 | - | 11 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 25 |
| 中川 | 37 | 24 | 23 | 4 | 34 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 85 |
| 港 | 61 | 22 | 13 | 24 | 50 | 22 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 132 |
| 南 | 27 | 22 | 20 | - | 23 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 71 |
| 守山 | 53 | 3 | 9 | 17 | 27 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 59 |
| 緑 | 35 | 12 | 9 | - | 56 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 78 |
| 名東 | 22 | 11 | 8 | - | 14 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 33 |
| 天白 | 38 | 10 | 6 | 9 | 20 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 45 |
| 市外 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 合計 | 392 | 200 | 192 | 54 | 446 | 93 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 11 | 996 |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合

(2) 月別

単位：件

| | 捕獲 | 自活不能猫 | 負傷動物 | 巡回調査 | 動物取扱業監視 | 特定動物監視 | 愛護 | | | | | | | | | | | その他 | 合計 | |
|-----|-----|-------|------|------|---------|--------|----------|----------|---------------|------------|------------------|------------------|---------------|-----------|------------|------|-----|-----|----|-----|
| | | | | | | | 移動ふれあい教室 | 移動動物愛護教室 | 移動ワンニャンなごやか教室 | 犬の移動しつけ方教室 | 犬のしつけ方相談(集合注射会場) | 犬のしつけ方相談(区民まつり等) | しつけ・飼い方指導(個別) | 猫の移動飼い方教室 | 動物愛護普及啓発活動 | 巡回指導 | その他 | | | 計 |
| 4月 | 39 | 40 | 12 | - | 13 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 68 |
| 5月 | 28 | 41 | 18 | - | 8 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 68 |
| 6月 | 19 | 24 | 26 | - | 16 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | 69 |
| 7月 | 38 | 30 | 23 | - | 62 | 8 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 125 |
| 8月 | 42 | 27 | 11 | - | 18 | 7 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 63 |
| 9月 | 33 | 20 | 15 | - | 36 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 72 |
| 10月 | 33 | 11 | 31 | 14 | 62 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 118 |
| 11月 | 35 | 2 | 15 | 12 | 50 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 80 |
| 12月 | 39 | 1 | 7 | 7 | 8 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 23 |
| 1月 | 30 | - | 10 | 8 | 55 | 55 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 129 |
| 2月 | 32 | - | 10 | 7 | 80 | 14 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 111 |
| 3月 | 24 | 4 | 14 | 6 | 38 | 6 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 70 |
| 合計 | 392 | 200 | 192 | 54 | 446 | 93 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 11 | 996 |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合

4 殺処分（収容時又は収容中に死亡した犬猫等を含む）頭数

単位：頭

| | 総数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 成犬 | 85 | 12 | 5 | 9 | 9 | 8 | 6 | 6 | 5 | 4 | 6 | 5 | 10 |
| 子犬 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 小計 | 85 | 12 | 5 | 9 | 9 | 8 | 6 | 6 | 5 | 4 | 6 | 5 | 10 |
| 成猫 | 280 | 18 | 24 | 34 | 17 | 26 | 16 | 26 | 28 | 26 | 8 | 17 | 40 |
| 子猫 | 876 | 200 | 160 | 113 | 150 | 99 | 72 | 45 | 15 | 4 | 1 | 1 | 16 |
| 小計 | 1,156 | 218 | 184 | 147 | 167 | 125 | 88 | 71 | 43 | 30 | 9 | 18 | 56 |
| その他の動物 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 1,241 | 230 | 189 | 156 | 176 | 133 | 94 | 77 | 48 | 34 | 15 | 23 | 66 |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合

5 狂犬病予防事業及び動物愛護に関する事業推移表 その1（年度別）

| 年 度 | 処 理 ・ 抑 留 の 別 | 捕 獲 犬 | 引 取 成 犬 | | 引 取 子 犬 | | 引 取 成 猫 | | 引 取 子 猫 | | 自 活 不 能 猫 | 負 傷 猫 等 | 猫 等 小 計 | 合 計 | 捕 獲 犬 返 還 頭 数 |
|----------|---------------------------------|-------------|------------------|--------|------------------|--------|------------------|--------|------------------|-------|-----------------------|------------------|------------------|--------|---------------------------------|
| | | | 取 成 | 取 子 | 取 成 | 取 子 | 取 成 | 取 子 | | | | | | | |
| 平成 16 | 処 理 件 数 | 883 | 156 | | 156 | 665 | | 775 | 254 | 1,694 | 2,733 | 300 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 673 | 222 | 93 | 315 | 451 | 2,033 | 2,768 | 242 | 5,494 | 6,482 | | | | |
| 平成 17 | 処 理 件 数 | 764 | 191 | | 191 | 690 | | 1,022 | 215 | 1,927 | 2,882 | 274 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 638 | 301 | 124 | 425 | 442 | 1,797 | 3,243 | 219 | 5,701 | 6,764 | | | | |
| 平成 18 | 処 理 件 数 | 754 | 180 | | 180 | 687 | | 775 | 253 | 1,715 | 2,649 | 259 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 552 | 241 | 53 | 294 | 404 | 1,694 | 3,135 | 249 | 5,482 | 6,328 | | | | |
| 平成 19 | 処 理 件 数 | 761 | 177 | | 177 | 631 | | 737 | 261 | 1,629 | 2,567 | 261 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 524 | 260 | 49 | 309 | 459 | 1,498 | 3,071 | 253 | 5,281 | 6,114 | | | | |
| 平成 20 | 処 理 件 数 | 696 | 139 | | 139 | 638 | | 791 | 239 | 1,668 | 2,503 | 222 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 482 | 211 | 63 | 274 | 471 | 1,317 | 3,128 | 236 | 5,152 | 5,908 | | | | |
| 平成 21 | 処 理 件 数 | 648 | 128 | | 128 | 469 | | 753 | 212 | 1,434 | 2,210 | 199 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 375 | 221 | 24 | 245 | 389 | 1,090 | 2,979 | 206 | 4,664 | 5,284 | | | | |
| 平成 22 | 処 理 件 数 | 434 | 118 | | 118 | 355 | | 688 | 226 | 1,269 | 1,821 | 175 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 339 | 216 | 11 | 227 | 302 | 909 | 2,820 | 225 | 4,256 | 4,822 | | | | |
| 平成 23 | 処 理 件 数 | 417 | 112 | | 112 | 216 | | 611 | 251 | 1,078 | 1,607 | 204 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 340 | 196 | 12 | 208 | 263 | 469 | 2,377 | 249 | 3,358 | 3,906 | | | | |
| 平成 24 | 処 理 件 数 | 464 | / | | / | / | | 283 | 257 | 540 | 1,004 | 221 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 345 | 117 | 13 | 130 | 190 | 423 | 1,072 | 229 | 1,914 | 2,389 | | | | |
| 平成 25 | 処 理 件 数 | 392 | / | | / | / | | 200 | 192 | 392 | 784 | 191 | | | |
| | 抑 留 頭 数 | 270 | 111 | 4 | 115 | 214 | 303 | 782 | 180 | 1,479 | 1,864 | | | | |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合

※平成24年度の引取り子犬には他自治体からの譲受け9頭を含む

6 狂犬病予防事業及び動物愛護に関する事業推移表 その2（年度別）

| 年 度 | 処分頭数 | | | | | 犬実態調査 (推定頭数) | | こう傷事故 | | | | | | 避妊・去勢手術 補助金交付件数 | | | | 全 市 苦 情 受 付 件 数 | 愛 護 指 導 業 務 処 理 件 数 | |
|----------|------|-------|---------------------------------|-----------------------------|-------|-----------------|--------|--------|--------|-----|-------------|-------------|------------------|--------------------|--------|--------|--------|--------------------------------------|--|-----|
| | 犬 | 猫 | 学 術 研 究 用 犬 猫 | 負 傷 動 物 (犬猫を除く) | 計 | 飼 犬 | 野 犬 | 発生件数 | | | 観察犬 数 | | 被 害 者 数 | 犬 | | 猫 | | | | 計 |
| | | | | | | | | 飼 犬 | 野 犬 | 計 | 捕 獲 犬 | 引 取 犬 | | 避 妊 | 去 勢 | 避 妊 | 去 勢 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成 16 | 465 | 5,391 | - | 9 | 5,865 | - | - | 87 | 1 | 88 | 2 | - | 89 | 622 | 519 | 1,673 | 1,203 | 4,017 | 13,061 | 352 |
| 平成 17 | 544 | 5,602 | - | 4 | 6,150 | - | 86 | 75 | 1 | 76 | 6 | 1 | 76 | 807 | 624 | 2,069 | 1,394 | 4,894 | 14,056 | 249 |
| 平成 18 | 393 | 5,365 | - | 2 | 5,760 | - | - | 80 | 4 | 84 | 7 | - | 88 | 832 | 762 | 1,976 | 1,365 | 4,935 | 15,240 | 240 |
| 平成 19 | 356 | 5,158 | - | 4 | 5,518 | - | 49 | 74 | 6 | 80 | 4 | - | 82 | 973 | 811 | 1,878 | 1,396 | 5,058 | 16,235 | 181 |
| 平成 20 | 291 | 4,992 | - | 3 | 5,286 | - | - | 95 | 10 | 105 | 3 | 4 | 113 | 939 | 856 | 1,900 | 1,454 | 5,149 | 17,180 | 204 |
| 平成 21 | 207 | 4,521 | - | 2 | 4,730 | - | 30 | 87 | 8 | 95 | 3 | 1 | 96 | 955 | 860 | 1,852 | 1,457 | 5,124 | 17,282 | 184 |
| 平成 22 | 203 | 4,059 | - | 4 | 4,266 | - | - | 56 | 3 | 59 | 2 | 2 | 66 | 1,006 | 888 | 1,854 | 1,393 | 5,141 | 17,627 | 184 |
| 平成 23 | 174 | 3,125 | - | - | 3,299 | - | 20 | 86 | 7 | 93 | 4 | 2 | 94 | 991 | 892 | 1,873 | 1,392 | 5,148 | 17,725 | 177 |
| 平成 24 | 114 | 1,629 | - | - | 3,299 | - | - | 47 | 7 | 54 | 6 | 2 | 51 | 1,069 | 905 | 2,239 | 1,757 | 5,970 | 18,854 | - |
| 平成 25 | 85 | 1,156 | - | - | 1,241 | - | - | - | - | - | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - |

(注) 標章記号について、「-」は計数のない場合

7 愛護指導業務に関する事業推移表

(1) 譲渡頭数

ア 犬

| 平成23年度 | | | | 平成24年度 | | | | 平成25年度 | | | |
|--------|---------------------|------|--------------------------------------|--------|---------------------|------|--------------------------------------|--------|---------------------|------|--------------------------------------|
| 譲渡頭数 | 救命率(%) | | | 譲渡頭数 | 救命率(%) | | | 譲渡頭数 | 救命率(%) | | |
| | 捕獲犬 (返還犬 を含む) | 引取犬 | 収容犬 〈捕獲犬 +引取犬〉 (返還犬を 含む) | | 捕獲犬 (返還犬 を含む) | 引取犬 | 収容犬 〈捕獲犬 +引取犬〉 (返還犬を 含む) | | 捕獲犬 (返還犬 を含む) | 引取犬 | 収容犬 〈捕獲犬 +引取犬〉 (返還犬を 含む) |
| 171 | 82.9 | 44.7 | 68.4 | 145 | 85.5 | 58.7 | 78.5 | 103 | 94.8 | 33.0 | 76.4 |

イ 猫

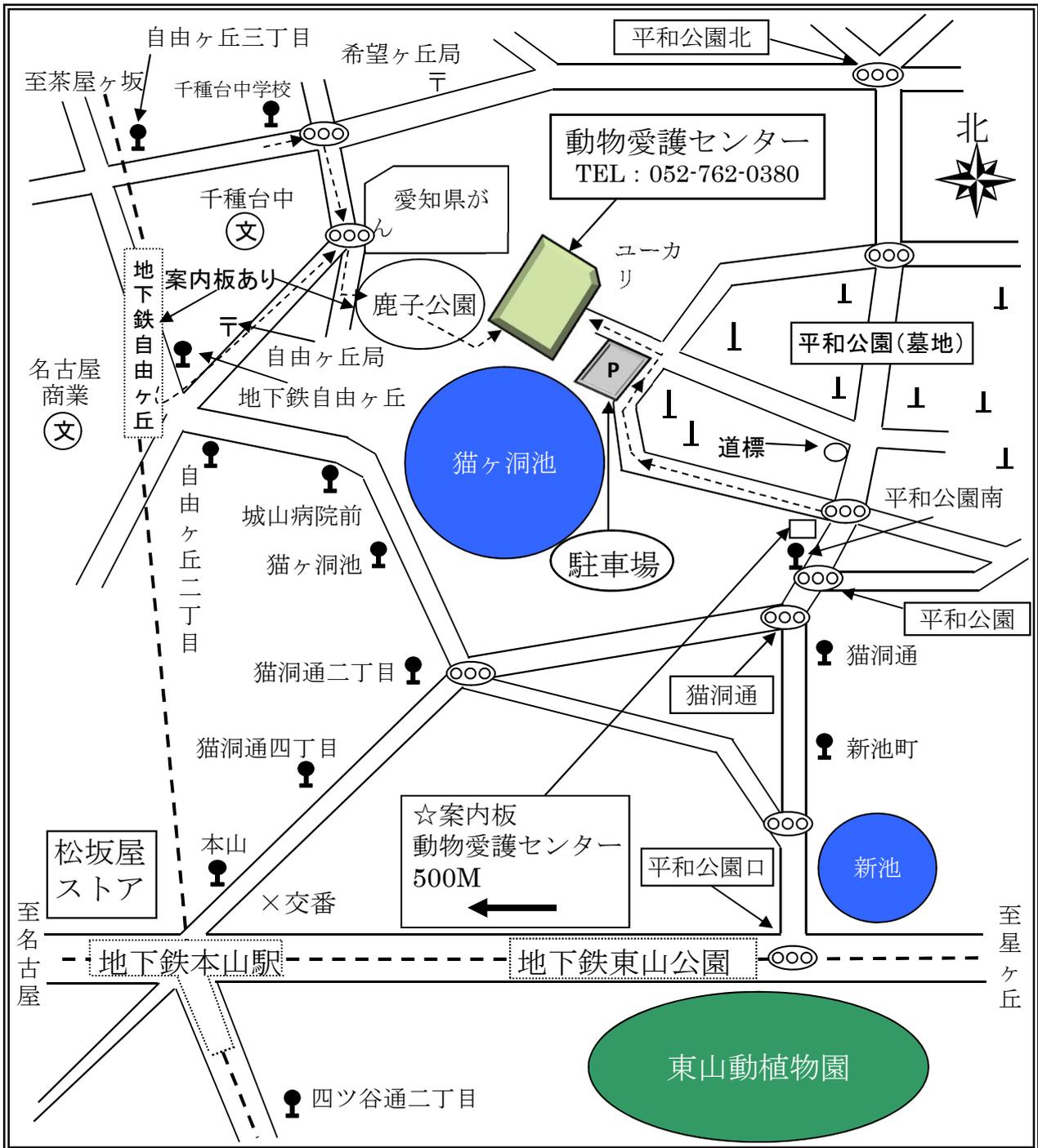
| 平成23年度 | | 平成24年度 | | 平成25年度 | |
|--------|--------------------|--------|--------------------|--------|--------------------|
| 譲渡頭数 | 救命率(%) (返還猫を含む) | 譲渡頭数 | 救命率(%) (返還猫を含む) | 譲渡頭数 | 救命率(%) (返還猫を含む) |
| 243 | 7.3 | 264 | 14.2 | 320 | 21.8 |

(2) 事業別実績数

| | | 23年度 | | 24年度 | | 25年度 | |
|-------------|---------------------|-------|-------|------|-------|------|-------|
| | | 開催回数 | 参加人数 | 開催回数 | 参加人数 | 開催回数 | 参加人数 |
| 動物愛護を啓発する教室 | なかよしワンワン教室 | 16 | 605 | 16 | 462 | — | — |
| | 動物愛護教室 | 90 | 1,321 | 51 | 1,035 | 50 | 214 |
| | 動物体験教室 | 57 | 191 | 24 | 70 | 7 | 111 |
| | 移動ふれあい教室 | 29 | 2,339 | 38 | 2,444 | 41 | 2,709 |
| | 愛護館夏休みガイドツアー | 5 | 251 | 4 | 163 | 2 | 90 |
| | 犬猫のひみつ「もっと知ろう!犬・猫」 | 3 | 140 | 3 | 156 | 1 | 43 |
| | その他の教室等 | 20 | 3,656 | 21 | 5,695 | 57 | 7,739 |
| 動物介在活動 | 所内ワンニャンなごやか教室 | 49 | 840 | 33 | 689 | — | — |
| | 所外ワンニャンなごやか教室 | 26 | 897 | 21 | 761 | 32 | 986 |
| 動物適正飼養啓発教室 | 犬のしつけ方教室 | 15 | 329 | 15 | 257 | 14 | 233 |
| | 犬のしつけ相談(実技・個別) | 33 | 104 | 38 | 154 | 42 | 99 |
| | パピー教室 | 12 | 223 | 10 | 242 | 12 | 165 |
| | 狂注会場でのしつけ方相談 | 16 | 221 | 16 | 239 | 16 | 191 |
| | 区民祭等でのしつけ方相談 | 19 | 380 | 11 | 280 | 9 | 327 |
| | 犬の移動しつけ方教室 | 35 | 568 | 29 | 505 | 23 | 355 |
| | 犬の飼い方教室 | 169 | 533 | 200 | 476 | 119 | 270 |
| | 猫の飼い方教室 | 67 | 334 | 137 | 456 | 160 | 402 |
| | 猫の室内飼育モデル事業 | 30 | 1,325 | 21 | 1,048 | 16 | 214 |
| | 犬の散歩指導 | 1,095 | 2,965 | 358 | 955 | 63 | 84 |
| | その他の教室等 | 14 | 252 | 21 | 694 | 110 | 1,400 |
| 子犬の飼主募集会 | | — | — | — | — | — | — |
| 動物取扱責任者認定研修 | | 2 | 52 | 2 | 48 | 2 | 50 |
| 動物取扱責任者継続研修 | | 3 | 541 | 3 | 558 | 4 | 627 |
| 動物愛護週間行事 | 動物フェスティバル(センターコーナー) | 1 | 1,400 | 1 | 1,700 | 1 | 1,700 |
| | W a nニャンふれあいD a y | 1 | 2,130 | 1 | 2,120 | — | — |
| その他の講習会 | | 16 | 179 | 18 | 230 | 7 | 32 |



IV 名古屋市動物愛護センター案内



☆ 交通機関

- ① 地下鉄自由ヶ丘駅2番出口から 徒歩15分 (鹿子公園経由)
- ② 基幹バス2 千種台中学校下車 徒歩10分 (鹿子公園経由)
- ③ 地下鉄星ヶ丘駅から市バス (地下鉄自由ヶ丘駅行)

平和公園南下車 徒歩 15分

〒464-0022

名古屋市千種区平和公園2 - 106

TEL 762-0380